Panasonic

取扱説明書

パーソナル MD システム

品番　RX-MDX63

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ ご使用前に **「安全上のご注意」（4 ～ 6 ページ）を必ずお読みください。**

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

MDLP

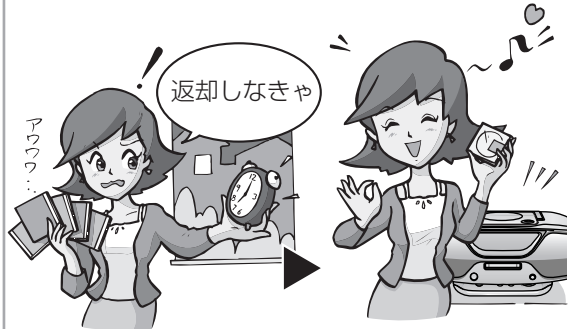
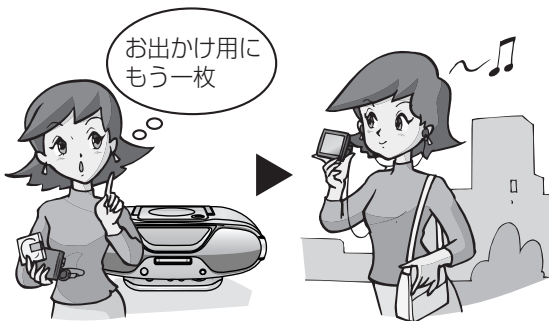
保証書別添付

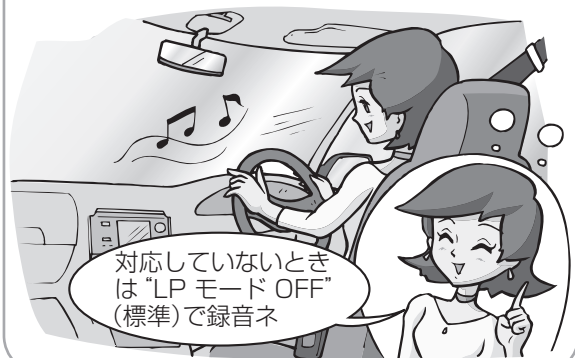
RQTX0167-1S

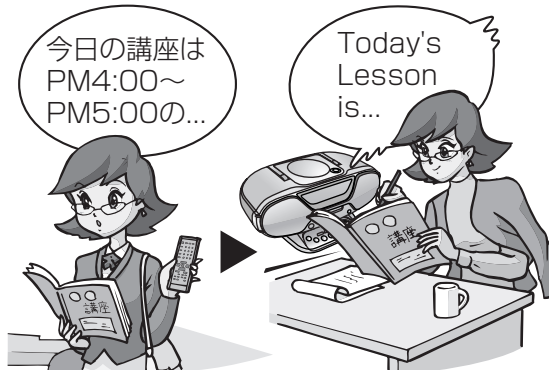
もくじ

すばやくMDに録音 ☞29ページ

高速録音を使えば、短時間で録音できます。

だいすきなMDをもう一枚 ☞48ページ

ポータブルMDから本機のMDに録音できます。

車でMDを再生 ☞26ページ

カーオーディオが MD**LP** に対応しているかご確認ください。

ラジオ講座も忘れず録音 ☞44ページ

予約した時間に録音できる"留守録タイマー"が便利です。

デモ機能 ☞11ページ

電源を切っても、表示部は自動的に点灯して変化します。（デモ機能）

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
(4～6ページ)

確認と準備

再生

録音

もっと 使いこなす

もし 必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

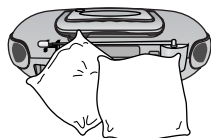
電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

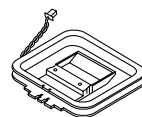
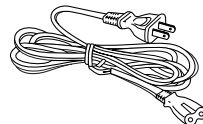
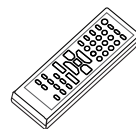
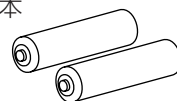
- 後面の通気孔をふさがないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

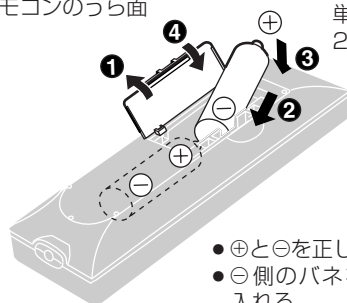
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

付属品の確認

付属品をご確認ください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

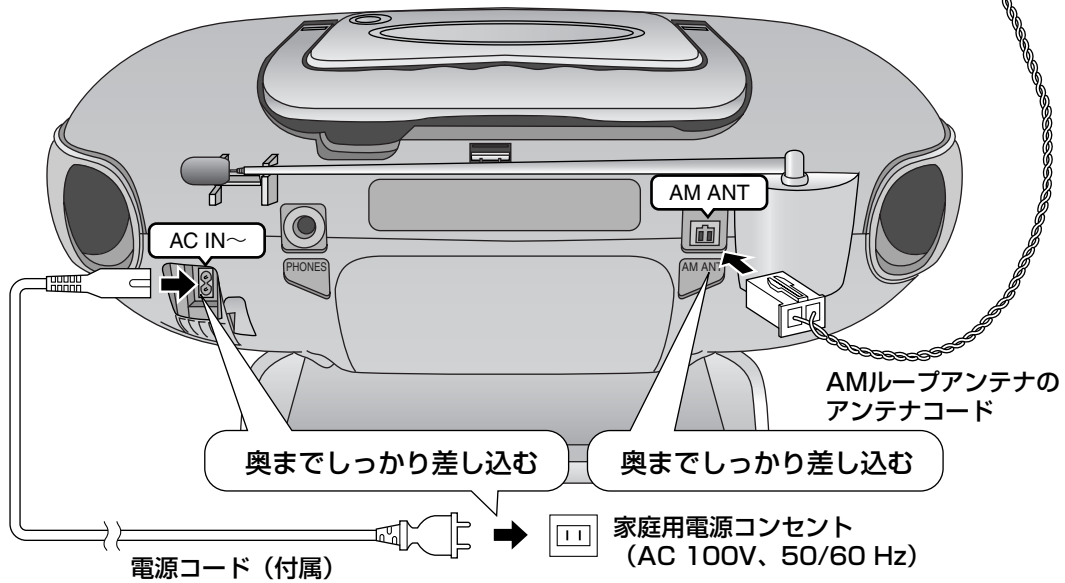
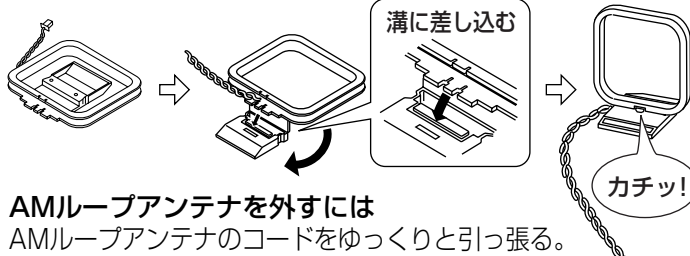
☐ AM ループアンテナ......1 本
（品番 G0ZZ00002036）

☐ 電源コード....................1 本
（品番 RJA0012-1A）

☐ リモコン........................1 コ
（品番 EUR7710070）

☐ リモコン用単 3 形乾電池....2 本

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
  カッコ（　）内は、買い替え時の品番です。
- 品番は、2008 年 7 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

付属品と別売品（➡ 48、50 ページ）は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp

リモコンの準備

故障防止のために
- 分解、改造をしない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

AM アンテナの接続と電源の準備

家庭用コンセントで使います。
電池では使えません。

設置とリモコンの使いかた

本体の向きを上方向に調節できます。

- 聞きやすく、表示が見やすい位置にします。
- 上方向に約 15゜動かせます。

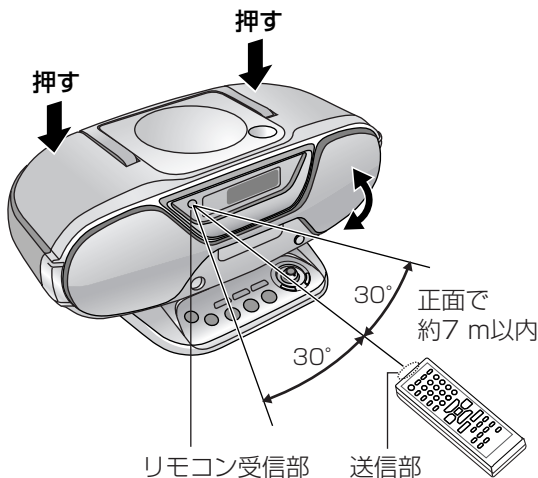
押す

押す

30°

正面で
約7 m以内

30°

リモコン受信部　送信部

お願い

本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。
テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

使用上のお願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受信部と送信部のほこりに注意。

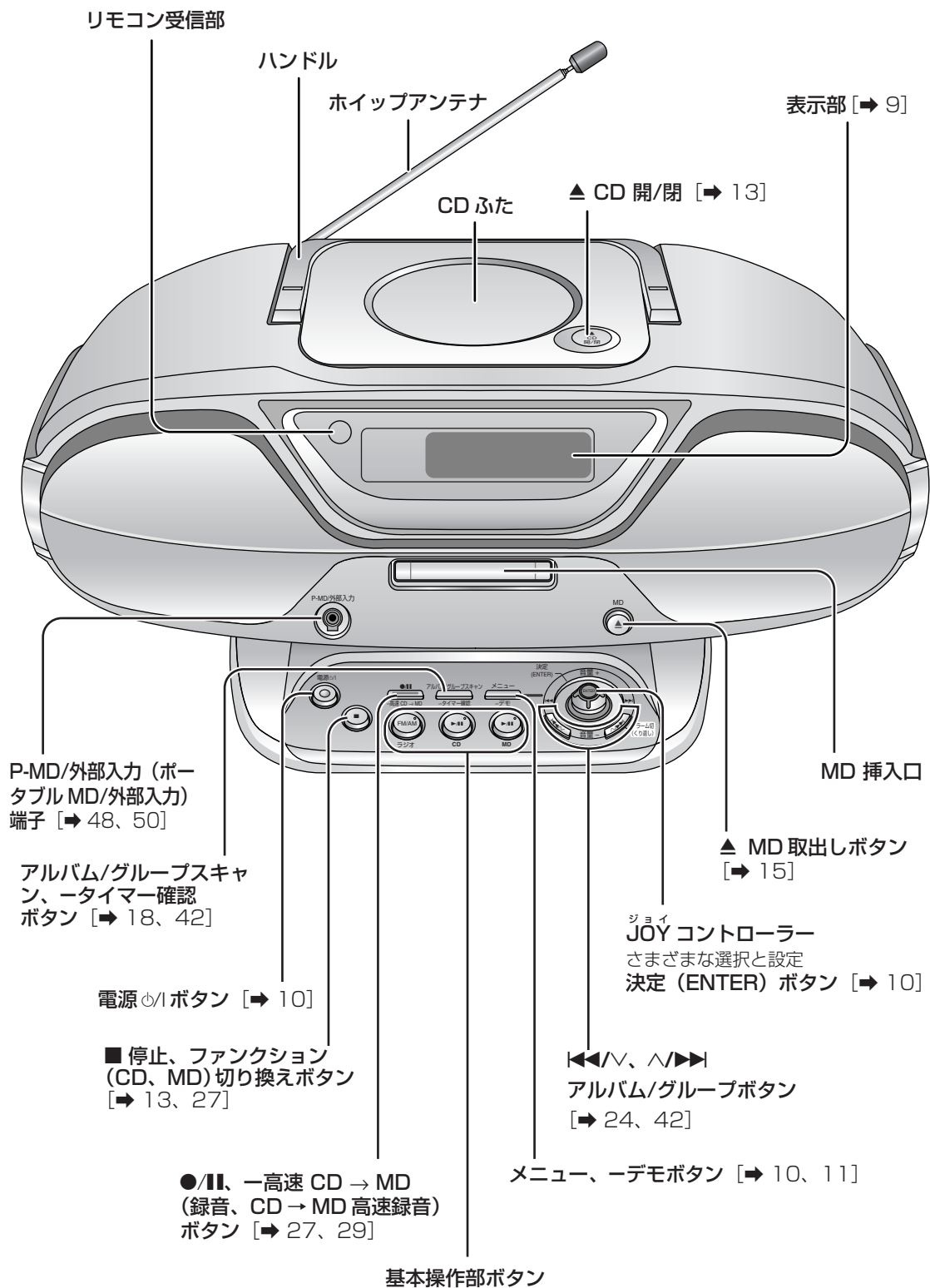
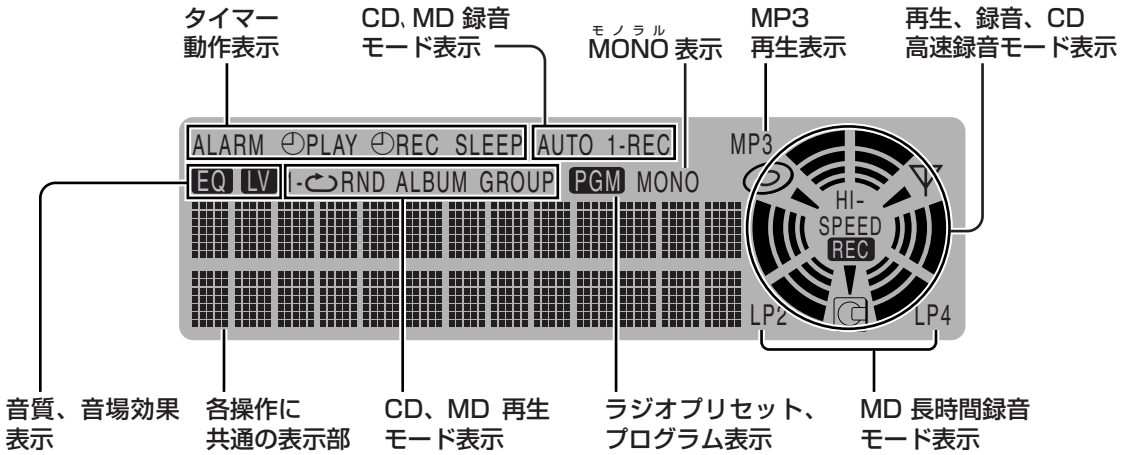
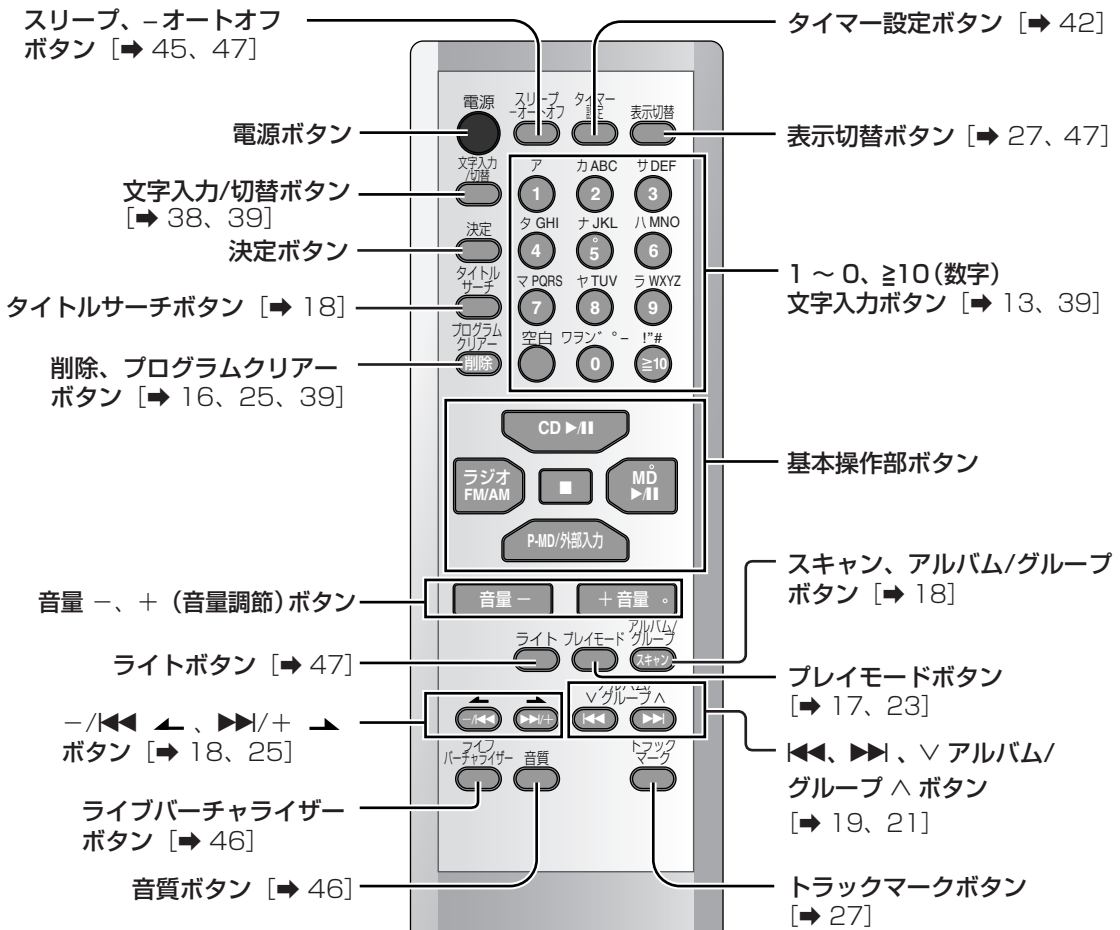
各部のなまえ

［➡ 13］などの数字は参照ページです。

本　体

表示部

リモコン

- スリープ、－オートオフボタン［➡ 45、47］
- 電源ボタン
- 文字入力/切替ボタン［➡ 38、39］
- 決定ボタン
- タイトルサーチボタン［➡ 18］
- 削除、プログラムクリアーボタン［➡ 16、25、39］
- 音量 －、＋（音量調節）ボタン
- ライトボタン［➡ 47］
- －/⏮ 、⏭/＋ ボタン［➡ 18、25］
- ライブバーチャライザーボタン［➡ 46］
- 音質ボタン［➡ 46］
- タイマー設定ボタン［➡ 42］
- 表示切替ボタン［➡ 27、47］
- 1 ～ 0、≧10（数字）文字入力ボタン［➡ 13、39］
- 基本操作部ボタン
- スキャン、アルバム/グループボタン［➡ 18］
- プレイモードボタン［➡ 17、23］
- ⏮、⏭、∨ アルバム/グループ ∧ ボタン［➡ 19、21］
- トラックマークボタン［➡ 27］

確認と準備

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。
例： 16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

1

電源⏻/I

押して
電源を入れる

2

押す
もう一度押すと元の表示に戻ります。

3

① 傾けて
“ジコク セッテイ”を選び

ｼﾞｺｸ ｾｯﾃｲ

② [決定（ENTER）] を押す

4

10 秒以内

傾けて
時刻を合わせる

ｼﾞｺｸ 16：25

- 時、分を同時に合わせます。
- 傾けたままにすると、速く変えられます。

5

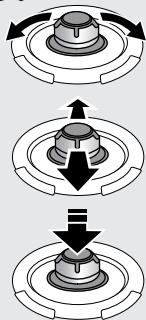
押して
時計をスタートさせる

ｼﾞｺｸ 16：25

- 時報などに合わせて押します。
- 約 1 秒で元の表示に戻ります。

アルバム/グループスキャン
–タイマー確認

JOY（ジョイ） コントローラーの使いかた

JOY コントローラーには、3 種類の操作方法があります。

軽く左右に傾ける

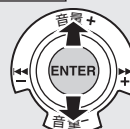
軽く上下に傾ける

[決定（ENTER）] を押す

3 種類の操作を使い分けることで、本機のいろいろな機能が使えます。

本書では、JOY コントローラーの使いかたを、次のようにイラストで表しています。

左右に

上下に

[決定（ENTER）]を押す

① 左右に傾け、
② [決定（ENTER）]を押す

表示部の変化について

本機の時計を確認するには

表示切替

数回押して、
“ジコク”を表示させ、時計を確認する

ジコク　16 : 25

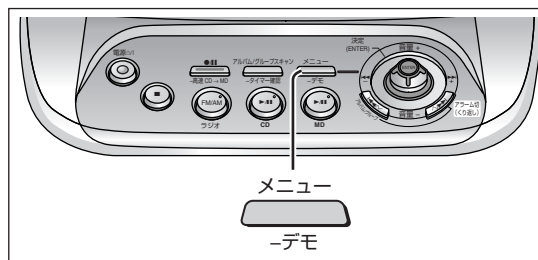
- 電源「切」時は、時計を合わせていれば、時計表示になります。(本体の[アルバム/グループスキャン、－タイマー確認]を押したままにすると照明が点灯し、見やすくなります。約3秒で自動的に消灯します。

お知らせ

- 時計精度は室温において月差約1分です。定期的な時刻補正をおすすめします。
- 停電後、約74分以内に復帰した場合、時計表示全体が点滅します。
  この点滅は一度電源を入れると解除されます。このとき、時計が合っていることを確認してください。
- 時計を合わせると、**デモ機能**(➡ 右記)は自動的に「切」になります。

デモ機能

電源コードをコンセントに差し込むと、表示部が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これを**デモ(デモンストレーション)機能**と呼びます。

お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。デモ機能を「入」のままにしておくと、電源を「切」にしても表示部は全消灯せず、デモ機能が働きます。

デモ機能を「切」にするには

デモ機能動作中に
“デモ OFF”と表示するまで押したままにする

デモ OFF

上記操作をするたびに
デモ OFF(切) ⇄ デモ ON(入)

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。時計の合わせかたは、「時計を合わせる」(➡ 左ページ)をご覧ください。

お願い

電源プラグを約1週間以上抜いておくと、デモ機能「入」に戻ります。もう一度、上記の操作で「切」にしてください。

メモリーの保持について

電源プラグを3分間以上、コンセントに差し込んでいれば、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても、右のように、本機は設定したメモリー内容を保持します。
保持期間を超えて、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いておくと、メモリー内容は消えます。
メモリー内容が消えたときは、もう一度設定してください。
メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。(電源「切」時の消費電力：約0.6 W)

●約74分間、保持する項目

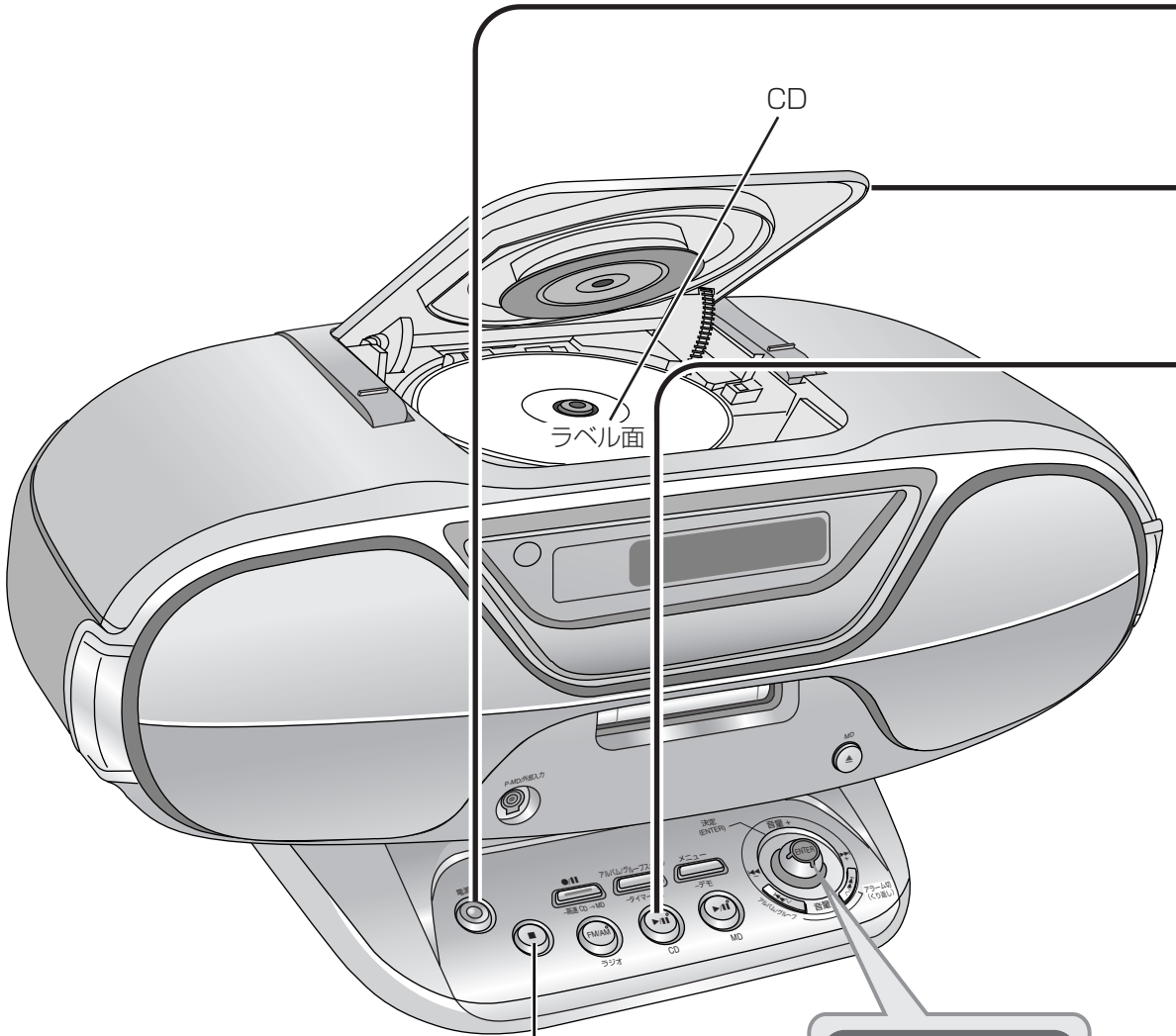
- 現在時刻
- タイマー設定(時刻以外の内容)

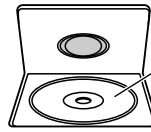
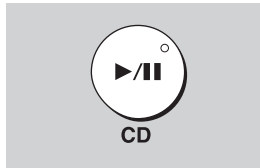
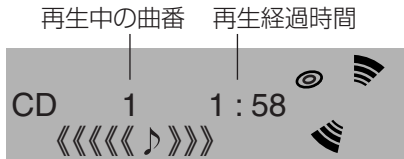
●約1週間、保持する項目

- タイマー設定(時刻)
- 放送局の設定(地域選択)
- 放送局の設定(マニュアルメモリー)
- MDのプログラム内容
- デモ機能の設定
- 音質の設定、など

CD を聞く

はじめて CD を使用する場合は、52 ページ「CD について」をお読みください。

● MP3 は読み込みに時間がかかります。“TOC ヨミコミチュウ”の表示が消えるまでお待ちください。

1
押して
電源を入れる

2
①押してCDふたを開け
CDを入れる
②ふたを閉じる

3
押す
1曲目から再生します。

途中で止める

押す
- 停止すると総曲数、総再生時間が表示されます。
- MP3の場合、総再生時間は表示されません。

一時停止する

押す
再開するには、もう一度押す。

曲を前後にとび越す（スキップ）

傾ける

早送り/早戻しする（サーチ）

再生中/一時停止中に
傾けたままにする

MP3の場合、サーチはできません。

好みの曲から聞く
リモコンのみ

押す

- 曲番10以上を選ぶには（例： 24）

- 曲番100以上を選ぶには（例： 235）

残り時間などの情報を見る
リモコンのみ

押す
- 押すたびに、表示部の表示が切り換わります。
- MP3の場合、残り時間は表示されません。

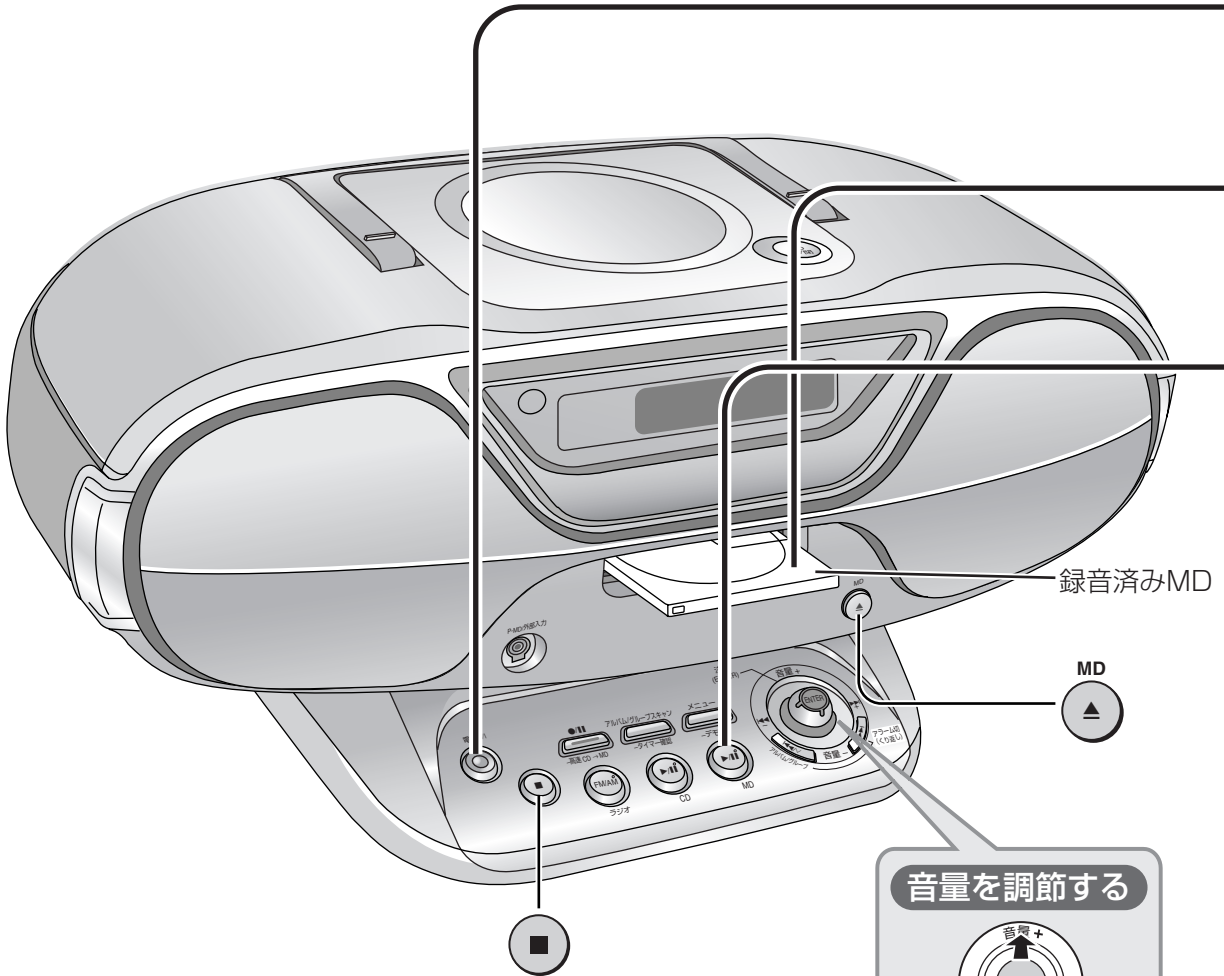
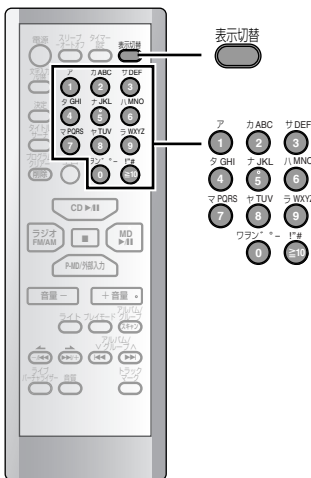
CDを取り出す

停止中に
押す
CDふたが開きます。

お願い
- CDを入れてCDふたを閉めた直後や、再生中、一時停止中に、CDふたを開けないでください。CDがターンテーブルから外れて、CDに傷がつく恐れがあります。
- ハンドルを倒した状態で、CDふたを開けてください。

お知らせ
- すでにCDが入っているときには、手順**3**から行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。

MDを聞く

はじめてMDを使用する場合は、51ページ「MDについて」をお読みください。

MD**LP**（長時間ステレオ録音/再生）について

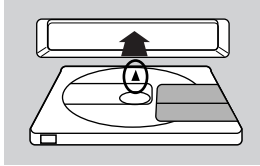
MD**LP** は音声圧縮技術によって長時間（2倍または4倍）ステレオ録音、再生できる方式です。
録音したときのモード（LP モード OFF／LP2／LP4）に従って再生します。
再生時には、表示部に次のように表示されます。

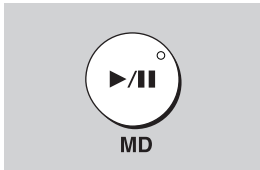
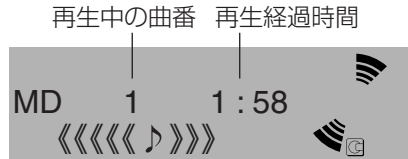
- 標準時間録音モード（LP モード OFF）で録音した曲のとき： 表示なし
- 2倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP2”
- 4倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP4”

MD**LP** で録音するには（➡ 26 ページ）

1

押して
電源を入れる

2

録音済み MD を入れる
MD を押し込むと自動的に引き込まれます。

3

押す
1 曲目から再生します。

途中で止める

押す

停止すると総曲数、総再生時間が表示されます。

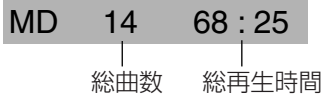
MD 14 68 : 25

総曲数　総再生時間

一時停止する

押す
再開するには、もう一度押す。

曲を前後にとび越す（スキップ）

傾ける

早送り/早戻しする（サーチ）

再生中/一時停止中に
傾けたままにする

好みの曲から聞く

リモコンのみ

押す

- 曲番 10 以上を選ぶには（例： 24）

≧10 → 2 → 4

- 曲番 100 以上を選ぶには（例： 235）

残り時間などの情報を見る

リモコンのみ

押す

押すたびに、表示部の表示が切り換わります。

MD を取り出す

押す

お知らせ

- 他の機器で長時間モノラル録音した MD の曲を本機で再生すると、“MONO” が点灯します。

MONO
MD 1 1 : 58

- すでに MD が入っているときには、手順 **3** から行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。

CD/MD の聞きかた

共通の準備

■ **押して**
“CD”または“MD”を選ぶ

プログラム再生

再生を停止するには
[■] を押す。(予約内容は保持されます)

プログラムを解除するには
停止中に、[削除、プログラムクリアー] を押す。“プログラム サクジョ” と表示し、予約内容が取り消されます。
- ディスクを取り出したときも解除されます。
- CD では、停電、電源プラグを外したときも解除されます。

予約内容を確認するには
停止中に、[−/⏮] または [⏭/＋] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

予約を追加するには
“プログラム： PGM” と表示している停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

予約の途中で
- **“コレイジョウ ヨヤクフカ” と表示したら**
  予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。これ以上は予約できません。
- **“−− ： −−” と表示したら**
  予約時間が 250 分に達したことを示しています。ただし、続けて予約できます。

好みの曲を予約順に聞く
(プログラム再生)

リモコンのみ

最大 24 曲まで予約できます。

1

停止中に
押す

MD 10 46 : 32
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ：PGM

2

押して
曲番を選ぶ

■ 曲番 10 以上を選ぶには
例：曲番 24 のとき

≧10 → 2 → 4

■ 曲番 100 以上を選ぶには
例：曲番 235 のとき

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

予約した曲番 予約順

MD 4 − −01

MD 4 4 : 01

合計再生時間

この操作をくり返して、曲番を選ぶ

3

押す
予約曲を順に再生し、自動停止します。

お知らせ
- CD でのサーチは、再生中の曲の中のみです。
- MP3 では、合計再生時間が表示されません。
- MP3 では、電源を入れ直したり、モードを切り換えた場合に、前回とアルバム数やトラック数が異なって認識されることがあります。その場合は、“プログラム サクジョ” と表示して予約内容が解除されるので、もう一度予約してください。

順不同に聞く（ランダム再生）

リモコンのみ

各曲を 1 回ずつ順不同に再生します。

1

停止中に押して
“ランダム： RND”を選ぶ

MD　RND　10　46 : 32
ランダム：RND

OFF → 1キョク リピート → ゼンキョク リピート → ランダム：RND (RND) → グループ サイセイ → グループ リピート → OFF

● “グループ サイセイ”と“グループ リピート”はグループ編集している MD でのみ表示されます。

2

または

MD ▶/II

押す
再生が始まります。

再生をくり返す（リピート再生）

リモコンのみ

1 曲をくり返すとき　：1 キョク リピート
全曲をくり返すとき　：ゼンキョク リピート

1

停止中に押して
“1 キョク リピート”または
“ゼンキョク リピート”を選ぶ

1 曲
MD　1-⭮　10　46 : 32
1キョク リピート

全曲
MD　⭮　10　46 : 32
ゼンキョク リピート

OFF → 1キョク リピート (1-⭮) → ゼンキョク リピート (⭮) → ランダム：RND → グループ サイセイ → グループ リピート → OFF

● “グループ サイセイ”と“グループ リピート”はグループ編集している MD でのみ表示されます。

2

1 曲をくり返す

押す
再生が始まります。

■ 曲番 10/ 100 以上を選ぶには
(➡ 左ページ)

全曲をくり返す

押す
再生が始まります。

または

ランダム再生

解除するには
停止中に、[プレイモード] を押して “OFF” を選ぶ。

お知らせ

- ランダム再生中は、前の曲にスキップできません。
- サーチは、再生中の曲の中のみです。
- プログラム再生と同時にはできません。
- 本機では、MP3 のランダム再生はできません。
- ランダム再生中は、“1 キョク リピート” や “ゼンキョク リピート” は選べません。

リピート再生

解除するには
[プレイモード] を押して “OFF” を選ぶ。

好みの数曲をくり返すには (プログラムリピート)
① プログラム再生で再生を始める。
(➡ 左ページ)
② [プレイモード] を押して “ゼンキョク リピート” を選ぶ。

再生中でも操作できます
再生中に、手順**1**の操作をする。
“1 キョク リピート” では、再生されている曲がくり返し再生されます。

共通の準備：
[■]を押して“CD”または“MD”を選ぶ。

イントロで曲を探して聞く（アルバム・グループスキャン）

MP3 / MD のみ

MP3 では各アルバム、MD では各グループの先頭曲を約 10 秒間順番に再生します。

1
停止中に、押す
先頭曲の再生が始まります。
MD をグループ化していないときは“グループガアリマセン”と表示し、元の表示に戻ります。
例： MD

グループ　スキャン

2
または
押す
スキャンしている位置から再生します。

アルバム・グループスキャン

途中で解除するには
[■] を押す。
“スキャン カイジョ”と表示し、解除されます。

本体でも操作できます
同じ名前のボタンを操作します。

前後のアルバム/グループのイントロを聞くには
[|◀◀ ∨ アルバム/グループ] または [▶▶| アルバム/グループ ∧] を押す。

お知らせ

プログラム、ランダム設定中は“エラー”が表示され、スキャンできません。

タイトルで曲を探して聞く（タイトルサーチ）

リモコンのみ　**MP3 / MD のみ**

検索に使えるのは、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。（最大 13 文字まで）

1
停止中に、押す

タイトル サーチ

タイトル入力画面になります。

2
タイトルを入力する （➡ 39 ページ）
大文字、小文字やスペースなどは区別して検索されるので正確に入力します。
例：「ナツ　ベスト」

ナツ ベスト

正確なタイトルがわからないときは、数文字でも検索できます。

3
押す
検索が始まります。

タイトル サーチ

候補の曲が見つかると▼

トラック 12
ナツ ベスト

4
さらに曲を探すとき
押す
前または次の候補の曲を検索します。

5
または
押す
検索した曲から再生します。

タイトルサーチ

途中で解除するには
[■] または [タイトルサーチ] を押す。
“サーチ カイジョ”と表示し、解除されます。

“キョクガ ミツカリマセン”と表示したら
候補の曲が見つからなかったことを示しています。
[タイトルサーチ] を押し、別の検索語を入力して検索します。

お知らせ

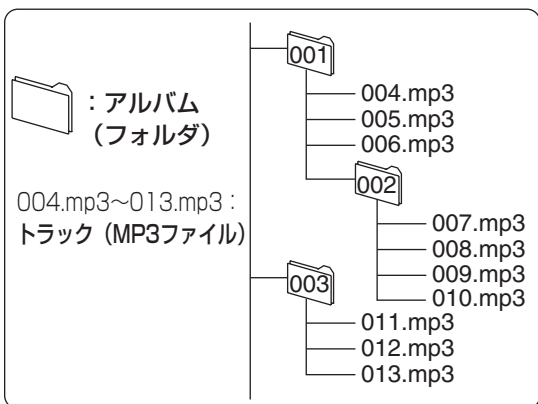
- 検索できるのはタイトルの先頭から 31 文字目までです。
- 前回入力したタイトルは記憶されています。不要なタイトルは、[削除、プログラムクリアー] を押して消し、新しいタイトルを入力します。
- プログラム、ランダム設定中は“エラー”が表示され、タイトルサーチできません。

MP3 (エムペグ オーディオ レイヤー / MPEG Audio Layer3) を聞く

MP3 で記録された CD-R/RW と CD の違い

- 本機では、パソコンで作成したフォルダ名・MP3 ファイル名を、アルバム名・トラック名として扱います。
- 本機では MP3 の早送り/早戻しやランダム再生はできません。

本機で再生できる MP3 ディスクを作るには

- フォーマット：ISO9660 level 1 または level 2
- 好みの順に再生したいときは、フォルダとファイル名の先頭に再生したい順でケタ数を揃えた数字を付けます。（下図）
  ただし、順番通りに再生できないこともあります。
- MP3 ファイルが入っていないフォルダはスキップされます。
- 漢字・ひらがなは、パソコンでは表示されますが、本機では空白となります。パソコンでフォルダやファイルに名前を付けるときは、本機で表示できるように、カタカナ・アルファベット・数字・記号を使います。
- MP3 のファイルの作成ソフトの説明書もご参照ください。記録状態により再生できない場合があります。

お知らせ

- 最大 256 アルバム、999 トラックまで再生できます。階層の深いフォルダが複数あるときは、すべてのフォルダやファイルを認識できないことがあります。
- 本機はマルチセッションに対応しています。セッション数が多いと再生開始までに時間がかかるため、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- 同一ディスクで MP3 と CD-DA（通常の音楽 CD）の両方の形式が別のセッションに記録されているときは、最初のセッションに使用されている形式のみ再生します。
- MD に録音した場合、MD のトラック名は、MP3 のファイル名がつきます。
- タイトルは、本機で表示できる文字のみ最大 31 文字（半角）まで表示されます。拡張子は表示されません。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- アルバムサイセイは、プログラム再生と同時にできません。
- 本機は、ID3 タグに対応していません。

アルバム単位で聞く

リモコンのみ

基本的な操作は、CD と同じです。
ここでは MP3 独自の機能について説明します。
準備：
[■]を押して "CD" を選ぶ。

- **1 つのアルバムだけ聞く:** アルバム サイセイ
- **1 つのアルバムをくり返す：** アルバム リピート

1 プレイモード **停止中に押して "アルバム サイセイ"または "アルバム リピート"を選ぶ**

2 **押して アルバムを選ぶ**

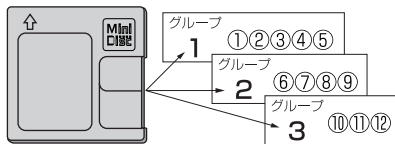
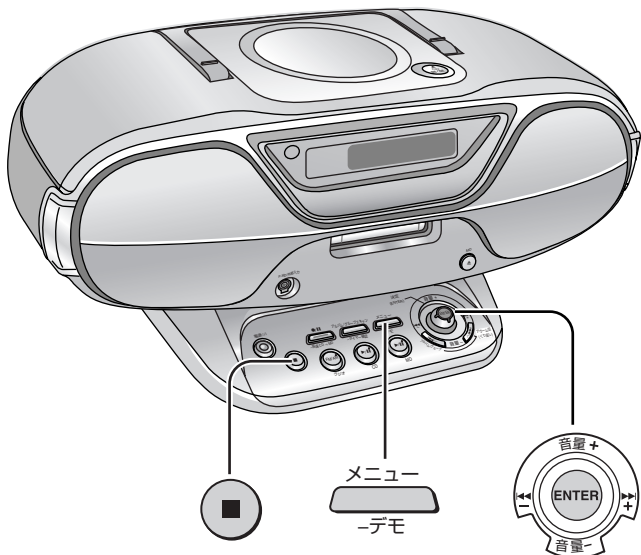
3 **押す**
再生が始まります。

アルバム単位で聞く

解除するには
停止中に、[プレイモード] を押して "OFF" を選ぶ。

アルバムを前後にとび越すには（アルバムスキップ）
[⏮ ∨ アルバム/グループ] または [⏭ アルバム/グループ ∧] を押して、聞きたいアルバムを選ぶ。

MD をグループで聞く

MD に録音した曲を、ひとつのグループとして管理できます。(最大 99 グループまで)

CD1 枚を丸録り(➡ 30 ページ)すると、録音された全曲をグループとして扱います。
(UTOC エリアの空き状況により異なります)

グループ編集

グループ編集を途中で止めるには
[■] を押す。

お知らせ

- グループにできるのは、連続した曲(例： 3 曲目～ 9 曲目)のみです。「3 曲目と 7 曲目と 9 曲目」のように曲が離れている場合は、グループにできません。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- 1 曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- 本機でグループ編集した MD を、グループ機能未対応の機種で編集すると、グループ管理情報が使えなくなることがあります。
- 本機でグループ編集した MD を、グループ機能未対応の機種で再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。
- プログラム、ランダム、グループ再生設定中は、グループを編集または解除できません。各モードを解除してください。
- プログラム、ランダム、1 曲リピート、グループ再生設定中は、タイトルを変更できません。解除してください。
- MD が誤消去防止になっているときもグループ編集できません。

曲をグループにまとめる(グループ編集)

準備：
① グループ編集するMDを入れる。
② [■]を押して “MD” を選ぶ。
例：曲番 3 ～ 9 をひとつのグループにする。

1

停止中に押す

2

① 傾けて “ヘンシュウ モード”を選び

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

② [決定(ENTER)] を押す

③ 傾けて“グループ?”を選び

ｸﾞﾙｰﾌﾟ?

④ [決定(ENTER)] を押す

⑤ 傾けて “グループ セッテイ?”を選び

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｾｯﾃｲ?

⑥ [決定(ENTER)] を押す
はじめてグループ編集する MD は、“グループ セッテイ?”しか選べません。

⑦ 傾けてトラック番号を選び

ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1ｾｯﾃｲ
3?～– – –

⑧ [決定(ENTER)] を押す

⑨ 傾けてトラック番号を選び

ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1ｾｯﾃｲ
3 ～ 9?

⑩ [決定(ENTER)] を押す

3

リモコンのみ

グループにタイトルを付ける
(➡ 38 ページ)

4

押す
“UTOC カキコミチュウ” の点滅後、グループ編集が完了します。

グループ名を変更する

リモコンのみ

1 アルバム/∨グループ∧ **押して グループを選ぶ**

2 文字入力/切替 **押す**

3 **グループのタイトルを付けなおす**
(➡ 38 ページ)

4 決定 **押す**
"UTOC カキコミチュウ" の点滅後、変更が完了します。

グループを解除する

● **ひとつのグループを解除するには**
① 停止中に、[メニュー、−デモ] を押す。
② JOY コントローラーを左右に傾けて "ヘンシュウ モード" を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
③ 同じ操作で "グループ?" を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
④ 同じ操作で "1 グループ カイジョ?" を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
⑤ 同じ操作で解除したいグループを選び、[決定 (ENTER)] を押す。
⑥ [決定 (ENTER)] を押す。
"UTOC カキコミチュウ" と表示されます。

● **全グループを解除するには**
① 停止中に、[メニュー、−デモ] を押す。
② JOY コントローラーを左右に傾けて "ヘンシュウ モード" を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
③ 同じ操作で "グループ?" を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
④ 同じ操作で "ゼンブ カイジョ?" を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
⑤ [決定 (ENTER)] を押す。
"UTOC カキコミチュウ" と表示されます。

グループ単位で聞く

リモコンのみ

まず、曲をグループにまとめます。(➡ 左ページ)
準備：
[■]を押して "MD" を選ぶ。
● **1 つのグループだけ聞く:** グループ サイセイ
● **1 つのグループをくり返す：** グループ リピート

1 プレイモード **停止中に押して "グループ サイセイ" または "グループ リピート" を選ぶ**

GROUP
グループ サイセイ

GROUP
グループ リピート

OFF → 1キョク リピート → ゼンキョク リピート
↑ ↓
グループ リピート ← グループ サイセイ ← ランダム：RND
(↻ GROUP) (GROUP)

● プログラム設定中は、"グループ サイセイ"、"グループ リピート" を選べません。
● "グループ サイセイ" と "グループ リピート" はグループ編集している MD でのみ表示されます。

2 アルバム/∨グループ∧ **押して グループを選ぶ**

3

押す
再生が始まります。

グループ単位で聞く

解除するには
停止中に、[プレイモード] を押して "OFF" を選ぶ。

グループを前後にとび越すには (グループスキップ)
[⏮ ∨ アルバム/グループ] または [⏭ アルバム/グループ∧] を押して、聞きたいグループを選ぶ。

ラジオを聞く

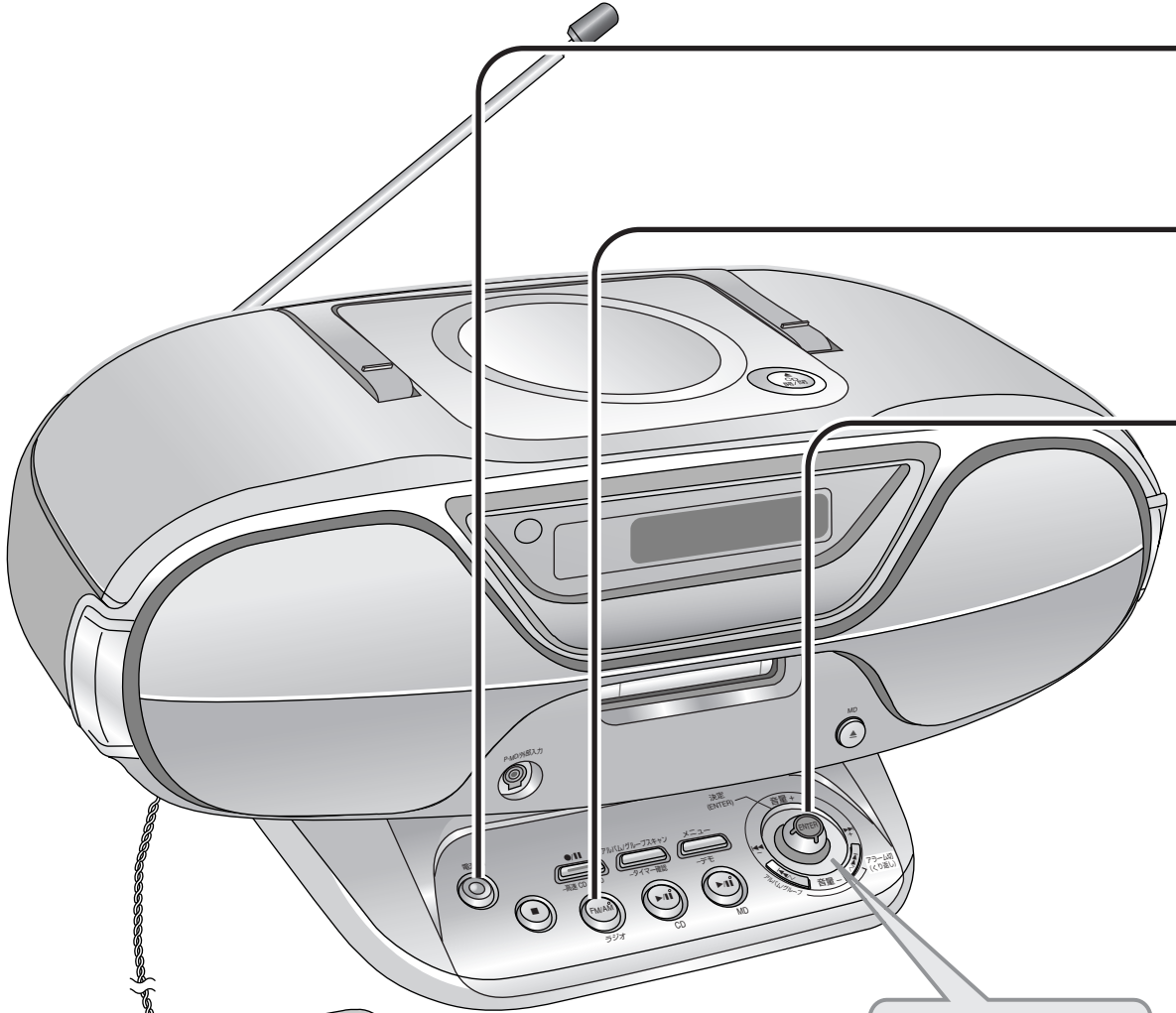
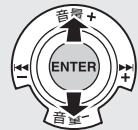
地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに終了することが、国の法令によって定められています。
地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。

準備：
AM アンテナを接続する。(➡ 7 ページ)
接続しないと、放送局を受信できません。

テレビ音声（1 ～ 3 チャンネルのみ）は FM で受信します。

1

押して
電源を入れる

2

押して
“FM”または“AM”を選ぶ

押すたびに FM ⇆ AM

FM　76.0 MHz
《《《《《 ♪ 》》》

3

傾けて
周波数を合わせる

テレビの受信位置は：
FM 76.0 MHz ←---→ FM 90.0 MHz
TV 3ch ⟷ TV 2ch ⟷ TV 1ch

周波数

FM　88.1 MHz
《《《《《 ♪ 》》》

自動選局する

周波数が動き出すまで
傾けたままにし、動き始めたら指を離す

ｼﾞﾄﾞｳ ｾﾝｷｮｸ

- 放送局を受信すると、自動停止します。
- 好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。

FMステレオ放送で雑音が多いときは
リモコンのみ

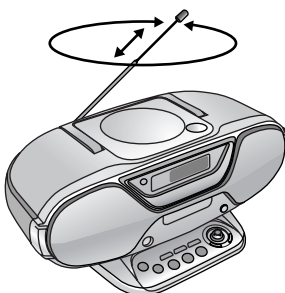
押して受信モードを切り換える

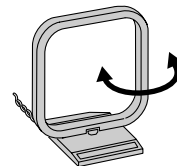
押すたびに
モノラル：MONO ⇄ ジドウステレオ
（強制モノラル）　（自動判別）

MONO
FM　88.1 MHz
ﾓﾉﾗﾙ：MONO

- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。（FM 76.0～90.0 MHz 受信時のみ）
- 通常は“MONO”を消灯させておいてください。

FMの受信状態がよくないときは

本機を窓際などに置き、FMホイップアンテナの長さと向きを調節します。

AMの受信状態がよくないときは

本機を窓際などに置き、AMループアンテナの位置と向きを調節します。

お知らせ

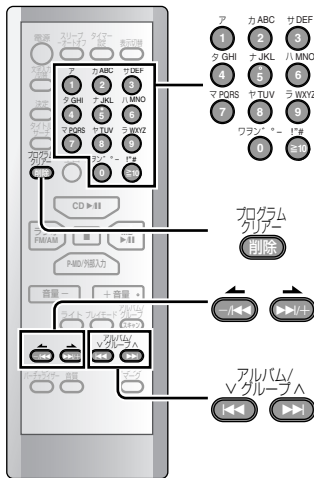
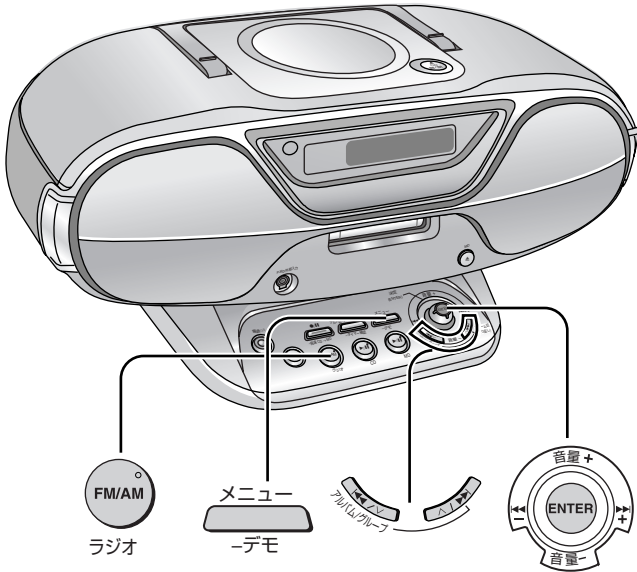
- AMとテレビの音声はモノラルです。
- 本機のTV受信回路は、FM受信回路と兼用しているため、2または3chにFM放送が混信することがあります。

再生

放送局を記憶させて聞く

- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
- FM、AM とも、12 局ずつ記憶させることができます。

共通の準備

押して
“FM”または“AM”を選ぶ
地域選択では、FM、AM どちらを選んでいてもかまいません。

記憶させる

お住まいの地域を選択する（地域選択）

エリアバンクの中から地域番号を選択するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1

押す

2

① **傾けて“チイキ センタク”を選び**

F M　76.0 MHz
チイキ センタク

② **[決定（ENTER)] を押す**

PGM
11　トウキョウケン

③ **傾けて地域番号**（➡ 下記）**を選び**

PGM
1　サッポロ

④ **[決定（ENTER)] を押す**
エリアに記憶されている最初の周波数と放送局名が表示されます。

PGM
F M　80.4 MHz
AIR-G’

エリアバンク（2008 年 7 月現在）

地域番号	地域名	地域番号	地域名
1	札幌	11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）
2	青森	12	甲府
3	秋田	13	松本
4	盛岡	14	静岡
5	山形	15	名古屋圏（名古屋、岐阜）
6	仙台	16	津
7	福島	17	新潟
8	宇都宮	18	富山
9	水戸	19	金沢
10	前橋	20	福井

好みの局を記憶する（マニュアルメモリー）

リモコンのみ

地域選択後の空きチャンネルに、好みの局を記憶させることができます。

1

押して
周波数を合わせる

2

押す

PGM
F M 80.2 MHz
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ch –

3

10 秒以内
押して
チャンネルを選ぶ

PGM
F M 80.2 MHz
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ch 7

■ チャンネル 10 以上を選ぶには
例： 12 チャンネルのとき

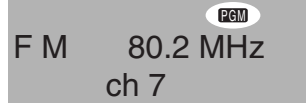
続けて記憶させるときは、
手順1に戻る

地域番号	地域名	地域番号	地域名
21	大津	31	松山
22	奈良	32	高知
23	和歌山	33	福岡
24	大阪圏（大阪、神戸、京都）	34	北九州
		35	佐賀
25	鳥取	36	長崎
26	松江	37	大分
27	広島	38	熊本
28	山口	39	宮崎
29	高松・岡山	40	鹿児島
30	徳島	41	那覇

記憶させた放送局を聞く

本体で操作する

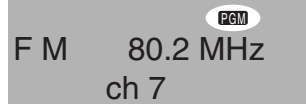
押して
チャンネルを選ぶ

PGM
F M 80.2 MHz
ch 7

地域選択で記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

リモコンで操作する

押して
チャンネルを選ぶ

または

PGM
F M 80.2 MHz
ch 7

■ チャンネル 10 以上を選ぶには
例： 12 チャンネルのとき

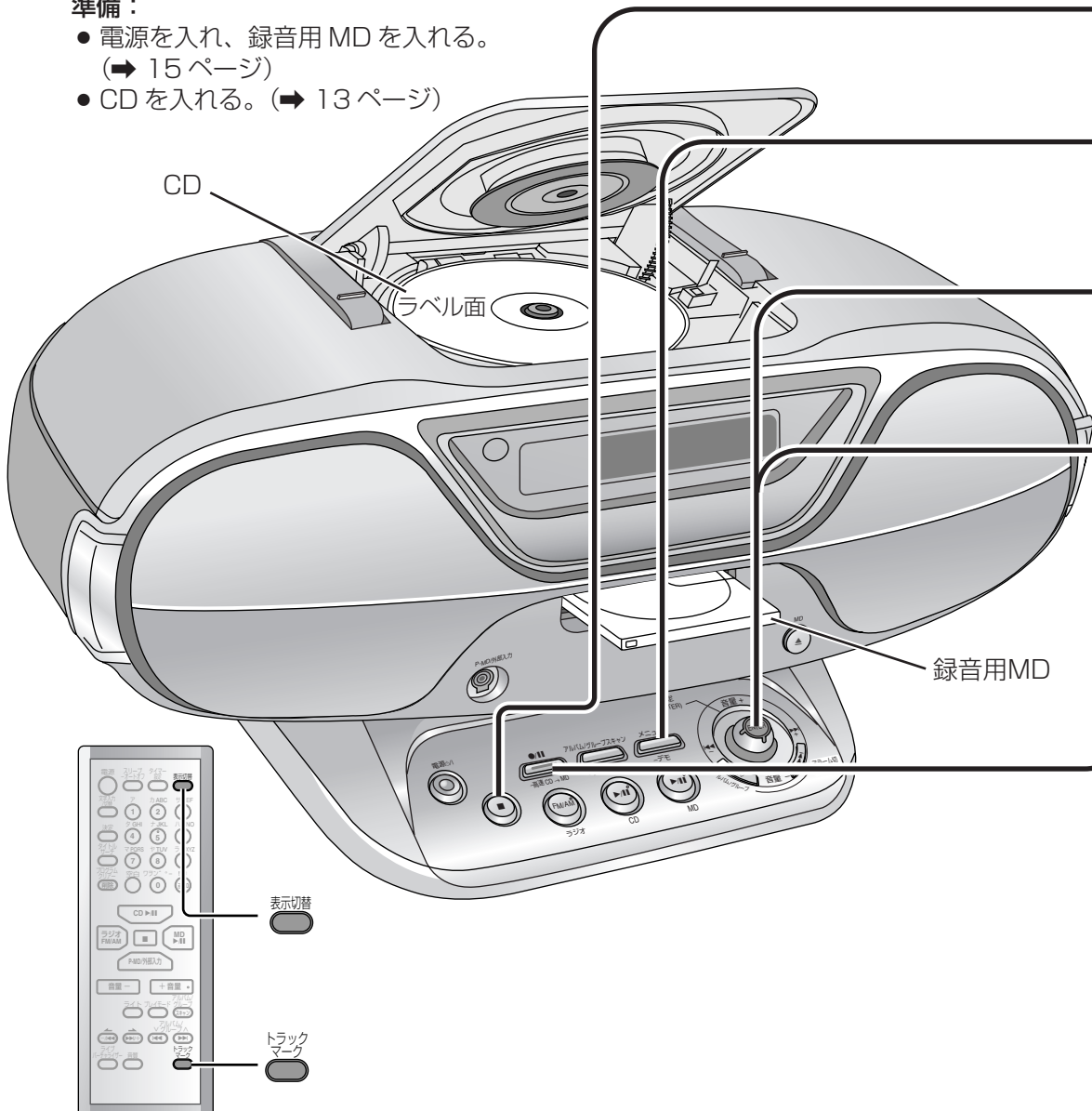
地域選択で記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

CD を MD に録音する(シンクロ録音)

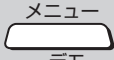
高速録音可能

はじめて MD を使用する場合は、51 ページ「MD について」をお読みください。

準備：

- 電源を入れ、録音用 MD を入れる。(➡ 15 ページ)
- CD を入れる。(➡ 13 ページ)

MD**LP**（長時間ステレオ録音/再生）について

本機は、MD の長時間録音フォーマット MD**LP** に対応しています。
ステレオで 2 倍、4 倍の長時間録音ができます。

LP モードディスプレイ表示

LP2　ﾓｰﾄﾞ　LP2

LP モード OFF	：標準時間録音モード（表示なし）ディスクに記載されている時間で録音
LP2 モード	：2 倍長時間録音モード（LP2）ディスクに記載されている 2 倍の時間で録音可能
LP4 モード	：4 倍長時間録音モード（LP4）ディスクに記載されている 4 倍の時間で録音可能

- 録音中は、LP モードを変更できません。
- 本機で 2 倍長時間録音または 4 倍長時間録音した曲は、MD**LP** に対応した機器以外では再生できません。
- **カーオーディオが、MDLP に対応していないときは、標準モード（LP モード OFF）で録音します。**
- 対応していない機器で再生すると、曲タイトルの先頭に "LP ：" と出て、無音で再生されます。
- 4 倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視する録音を行うときは、標準時間録音（LP モード OFF）または 2 倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

1

押して
“CD” を選ぶ

CD　14　68 : 25

2

押す
もう 1 度押すと元の表示に戻ります。

3

① 傾けて
“LP モード” を選び
② [決定 (ENTER)] を押す

CD　14　68 : 25
LP モード

4

① 傾けて
LP モードを選び
(➡ 左ページ)
②[決定 (ENTER)]を押す

CD　14
LP2 モード

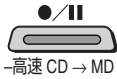
傾けるたびに
→LP モード OFF→LP2 モード↔LP4 モード

5

押して
録音を始める
高速録音するときは、“コウソク： HI-SPEED”と表示するまで押したままにする

ツウジョウ ロクオン
CD → MD ロクオン

CD の再生が終わると、MD も自動停止します。

途中で止める	**押す** “UTOC カキコミチュウ”の点滅後に録音が停止します。 UTOC カキコミチュウ
残り時間などの情報を見る リモコンのみ	表示切替 **押す** 押すたびに、表示部の表示が切り換わります。 MD ノコリ　53 : 01
一時停止する	●/II –高速 CD → MD **押す** ● 再開するには、もう一度押す。 ● 録音された音がとぎれます。 ● トラックマークが付きます。 ● MP3 を録音中は、一時停止したり、トラックマークを付けたりできません。
手動でトラックマークを付ける リモコンのみ	トラックマーク **録音中に押す** “トラック マーキング”と表示してトラックマークがひとつ付きます。

気に入った曲をすぐ録音するには(追っかけ録音)

再生中に、[●/II –高速 CD → MD] を押す。
曲の頭から最後の曲まで録音すると、自動的に停止します。
再生を一時停止してから録音すると、その位置からの録音になります。
1 曲だけ録音するには、**1 曲をねらい録り**で“1キョク ロクオン?”を選んで[決定 (ENTER)]を押した後 (➡ 30 ページ)、好みの曲の再生中に、[●/II –高速 CD → MD] を押す。

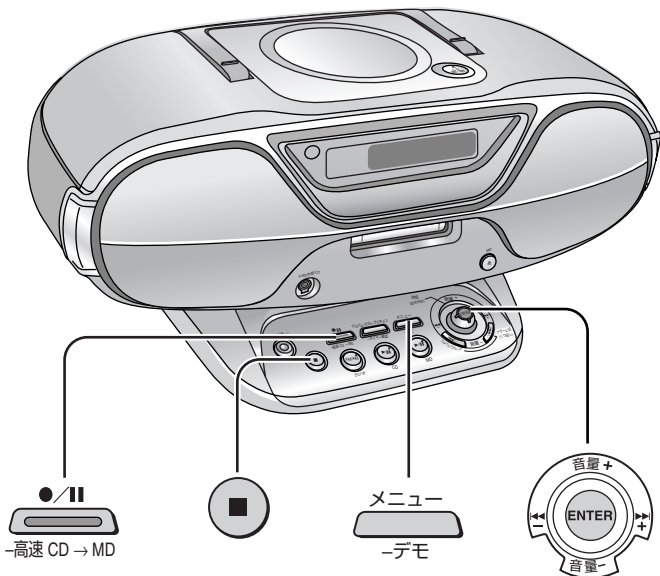
お願い

- CD を入れて CD ふたを閉めた直後や、再生中、一時停止中に、CD ふたを開けないでください。CD がターンテーブルから外れて、CD に傷がつく恐れがあります。
- ハンドルを倒した状態で、CD ふたを開けてください。

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。
- 本機で長時間モノラル録音はできません。
- MP3 を録音すると、自動的にアナログ録音になります。

ラジオを MD に録音する

準備：
録音用 MD を入れ、必要に応じて MD の長時間 (LP) モードを選ぶ。(➡ 27 ページ)

録音モードについて

マニュアル ロクオン：通常の録音モードです。自動でトラックマークは付きません。
ターンバック ロクオン：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。
タイムマーク キロク：5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。
ターン/タイムマーク：数秒前の音から録音し、5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

ラジオを MD に録音する

途中で止めるには
[■] を押す。

一時停止するには
[●/II —高速 CD → MD] を押す。トラックマークがひとつ付きます。

手動でトラックマークを付けるには
好みの位置でリモコンの［トラックマーク］を押す。トラックマークがひとつ付きます。

お願い
AM 放送を録音するときは、AM ループアンテナと本機をできる限り離してください。近づけるとノイズが入ることがあります。

お知らせ
- 地域選択で記憶させた放送局を録音すると、放送局が曲名（トラックタイトル）として記録されます。
- 本機で長時間モノラル録音はできません。

1 **ラジオ（またはテレビ）を聞く**
(➡ 22 ページ)

F M 80.2 MHz
FM802

2 メニュー –デモ **押す**

3

① **傾けて “ロクオン (REC) モード”を選び**

F M 80.2 MHz
ロクオン(REC)モード

② **[決定（ENTER)] を押す**

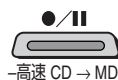
③ **傾けて録音モード**（➡ 左記）**を選び**

F M 80.2 MHz
マニュアル ロクオン?

マニュアル ロクオン? ⟷ターンバック ロクオン?
↕ ↕
ターン/タイムマーク? ⟷タイムマーク キロク?

④ **[決定（ENTER)] を押す**

4

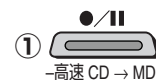
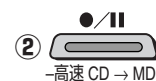
録音する
マニュアル ロクオン、タイムマーク キロク選択時は

●/II –高速 CD → MD **押す**
録音が始まります。

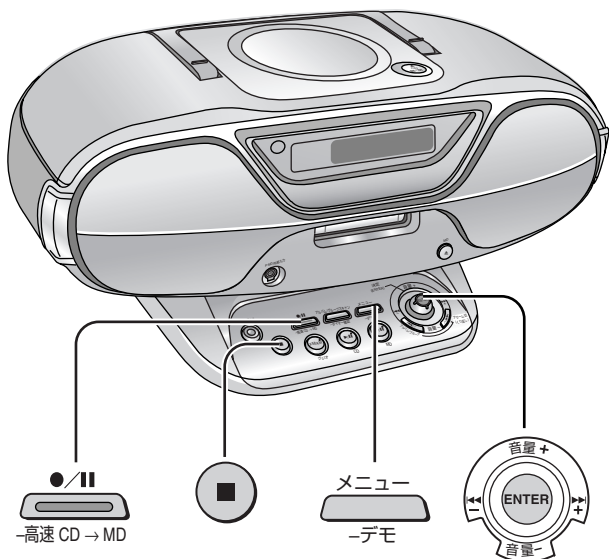
F M 80.2 MHz
FM → MD ロクオン

録音する
ターンバック ロクオン、ターン/タイムマーク選択時は

① ●/II –高速 CD → MD **押す**
録音待機状態になります。

② ●/II –高速 CD → MD **押す**
録音が始まります。

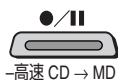
CD から MD へのいろいろな録音

共通の準備

①録音用 MD を入れ、必要に応じて MD の長時間録音（LP）モードを選ぶ。（➡ 27 ページ）
②CD を入れ、[■]（停止）を押して"CD"を選ぶ。

高速録音する

- CD から MD に最大 4 倍速で録音できます。74 分のディスクなら、約 23 分で録音が完了します。
  ディスクや条件によって、高速録音できないときがあります。高速録音できないときは、通常の速度で録音してください。
- 高速録音は、下の表のように、他の録音と組み合わせて使えます。

高速録音できる録音の種類

シンクロ録音 (➡ 26 ページ)	○
1 曲をねらい録り（➡ 30 ページ）	○
丸録り（➡ 30 ページ）	○
プログラム録音（➡ 31 ページ）	×
MP3 のアルバムを録音（➡ 31 ページ）	×

●/II
–高速 CD → MD

"コウソク： HI-SPEED" と表示するまで押したままにする
録音が始まり、全曲の録音が終了すると停止します。確認音（ビープトーン）が約 10 秒鳴ります。
- 確認音は[決定（ENTER)]などを押して止めます。

残量表示
（録音終了時にすべてが表示されます）

高速録音の制限について

本機の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、次のような制限があります。

- 高速録音終了後、約 74 分間は、同じ CD から高速録音できません。
- 高速録音を途中で止めた後、約 74 分以内に、それぞれ異なる 24 枚の CD を高速録音できますが、25 枚目の高速録音はできません。
- メモリーをリセット（初期化）（➡ 57 ページ）しても、約 74 分間は、高速録音できません。

■ **"○○フン マッテクダサイ" と表示したら**
○○分待ってからもう一度高速録音するか、シンクロ録音 (➡ 26 ページ) してください。

■ **"コウソクロクオン デキマセン" と表示したら**
プログラム、リピート、ランダムなどの設定中は高速録音できません。解除してください。

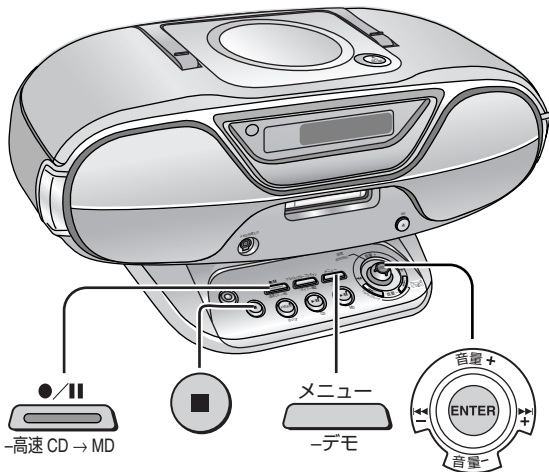
高速録音する

途中で止めるには
[■] を押す。

確認音の切/入を切り換えるには
① [メニュー、−デモ] を押す。
② JOY コントローラーを左右に傾けて "ビープモード" を選び、[決定（ENTER)] を押す。
③ 同じ操作で "ビープ OFF" を選び、[決定（ENTER)] を押す。

お知らせ

- 高速録音中は一時停止できません。
- MP3 は高速録音できません。
- 高速録音中の音はモニターできません。
  音量を調節すると "ショウオンチュウ" と表示されます。
- ラジオ、P-MD/外部入力端子に接続した外部機器など、本機の CD 以外からの高速録音はできません。
- 録音終了時の確認音の音量は調節できません。
- CD によっては、録音時間に誤差が生じる場合があります。

共通の準備：
① 録音用 MD を入れ、必要に応じて MD の長時間 (LP) モードを選ぶ。(➡ 27 ページ)
② CD を入れ、[■] を押して“CD”を選ぶ。

1 曲をねらい録りする
（1 曲録音）
高速録音可能

1 メニュー –デモ **押す**

2

① 傾けて“ロクオン (REC) モード”を選び

ロクオン(REC)モード

② [決定（ENTER)] を押す

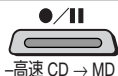
③ 傾けて“1キョク ロクオン?”を選び

1キョク ロクオン？

④ [決定（ENTER)] を押す

⑤ 傾けて録音する曲を選ぶ

3

押す
(高速録音するときは、表示が出るまで押したままにする)

録音が始まり、終了すると停止します。

1 曲をねらい録りする

途中で止めるには
[■] を押す。

“1キョク ロクオン” は自動的に解除されません
解除するには、次のように操作します。
① [メニュー、–デモ] を押す。
② JOY コントローラーを左右に傾けて“ロクオン (REC) モード”を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
③ 同じ操作で“マニュアルロクオン?”を選び、[決定（ENTER)] を押す。
電源を入れ直したり、モードを切り換えても解除されます。

CD1 枚を丸録りする
（全曲録音）
高速録音可能

CD の全曲を MD に自動で録音します。
- 録音前に、全曲入るか確認できます。
- MD に録音された全曲は、ひとつのグループになります。

1

押す

2

① 傾けて“ロクオン (REC) モード”を選び

ロクオン(REC)モード

② [決定（ENTER)] を押す

③ 傾けて“オート ロクオン?”を選び

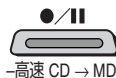
CD　14　68 : 25
オート ロクオン?

④ [決定（ENTER)] を押す

ゼンキョクロクオンカノウ

MD に全曲入らないときは、録音できない曲番と、録音できる曲数が表示されます。
録音できない曲番を再確認するには、リモコンの [表示切替] を押します。

3

押す
(高速録音するときは、表示が出るまで押したままにする)

録音が始まり、終了すると停止します。
(“オート ロクオン”は解除されます)

CD1 枚を丸録りする

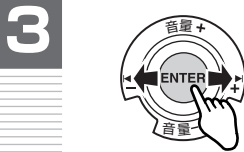
途中で止めるには
[■] を押す。(“オート ロクオン”は解除されます)

お知らせ

- 丸録り中は、一時停止したり、手動でトラックマークを付けたりできません。
- 丸録りしても、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- MP3 は丸録りできません。
- 全曲入らないときは、録音できない曲番などが表示されているときに、長時間録音モードを切り換えてみてください。丸録りできることがあります。

好みの数曲を録音する
（プログラム録音）

1 **録音したい曲をプログラム予約する**
（➡ 16 ページ）

2 メニュー –デモ **押す**

3
①傾けて“ロクオン（REC）モード”を選び

CD PGM 28 : 25
ﾛｸｵﾝ (REC) ﾓｰﾄﾞ

②［決定（ENTER)］を押す

③傾けて“オート ロクオン?”を選び

CD PGM 28 : 25
ｵｰﾄ ﾛｸｵﾝ?

④［決定（ENTER)］を押す

MD に全曲入らないときは、録音できない曲番と、録音できる曲数が表示されます。
録音できない曲番を再確認するには、リモコンの［表示切替］を押します。

4 ●/II –高速 CD → MD **押す**

録音が始まり、終了すると停止します。
（“オート ロクオン”は解除されます）

好みの数曲を録音する

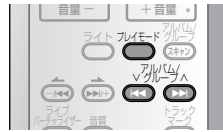
途中で止めるには
［■］を押す。（“オート ロクオン”は解除されます）

MP3 をプログラム録音するには
① 録音したい曲をプログラム予約する。（➡ 16 ページ）
② ［●/II ―高速 CD → MD］を押す。

お知らせ

プログラム録音では、曲と曲の空きが少し多くなります。このため“ゼンキョクロクオンカノウ”と表示しても、MD の残り時間が少ないときは、全曲録音できないことがあります。

MP3 のアルバムを録音する

MP3 の好みのアルバムを MD に録音します。

1 リモコンのみ

停止中に押して
“アルバム サイセイ”を選ぶ

ALBUM
ｱﾙﾊﾞﾑ ｻｲｾｲ

押すたびに
OFF → 1キョク リピート → ゼンキョク リピート
↑ ↓
アルバム リピート ← アルバム サイセイ

2 リモコン

押して
アルバムを選ぶ

3 ●/II –高速 CD → MD **押す**

録音が始まり、終了すると停止します。

MP3 のアルバムを録音する

途中で止めるには
［■］を押す。

CD-R/RW から録音するとき
（アナログ録音について）

- **“ロクオンデキナイ キョク アナログニシテクダサイ”と表示されることがあります**
  CD-R/RW から録音しようとすると、デジタル録音が制限されるために、このメッセージが出ることがあります。この場合は次のように設定を変更し、アナログ録音してください。
  ただし、**高速録音**(➡ 29 ページ)はできません。

① ［■］を押して“CD”を選ぶ。
② ［メニュー、―デモ］を押す。
③ JOY コントローラーを左右に傾けて“アナログ ロクオン”を選び、［決定（ENTER)］を押す。
④ 同じ操作で“アナログ ロクオン?”を選び、［決定（ENTER)］を押す。
⑤ ［●/II ― 高速 CD → MD］を押す。
録音が始まります。
録音が終わると、アナログ録音モードは自動的にデジタル録音モードに戻ります。

- **MP3 は、自動的にアナログ録音になります。**

MD を編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作れます。(録音用 MD のみ)
グループ編集 (➡ 20 ページ) した MD を編集すると、編集内容に応じてグループ情報も自動的に更新されます。

共通の準備

① 編集する MD を入れる。
② [■] (停止) を押して "MD" を選ぶ。

全曲を消す (全曲削除)

こんな MD になります

1

停止中に押す

2

① 傾けて "ヘンシュウ モード" を選び

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

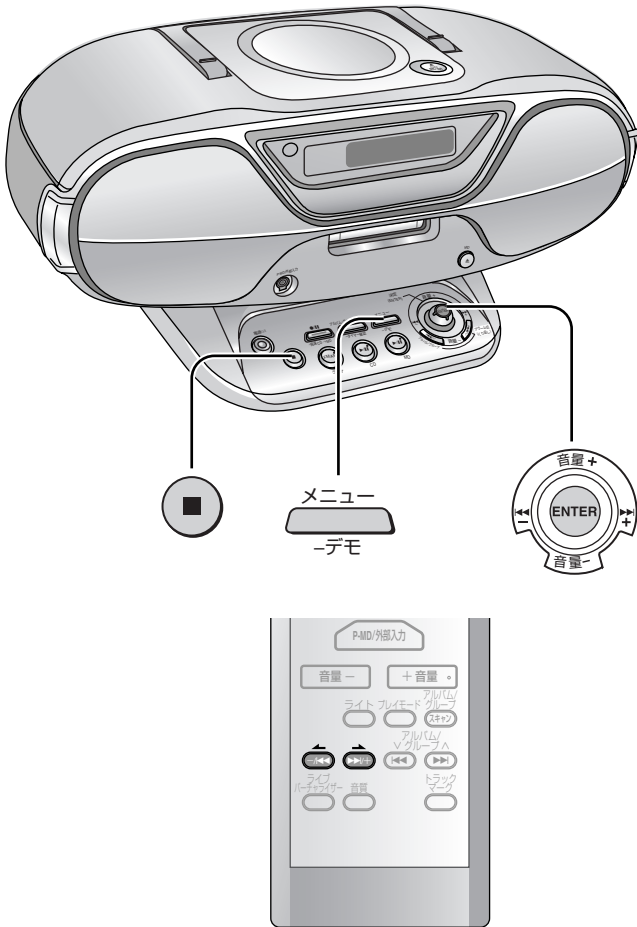
② [決定 (ENTER)] を押す

③ 傾けて "ゼンキョク サクジョ?" を選び

ｾﾞﾝｷｮｸ ｻｸｼﾞｮ?

④ [決定 (ENTER)] を押す

ｾﾞﾝｷｮｸ ｻｸｼﾞｮ?
⇕
ｹｯﾃｲ ｦ ｵｽ

⑤ [決定 (ENTER)] を押す
"UTOC カキコミチュウ" → "ブランク ディスク" 表示になり、編集が完了します。

共通の項目

以下の場合は、MD の編集 (全曲削除、1 曲削除、曲移動、曲結合、曲分割) ができません。解除してください。

- MD が誤消去防止になっている場合
- MD をプログラム、ランダム、グループ再生に設定している場合

全曲削除

途中で解除するには
[■] または [メニュー、－デモ] を押す。

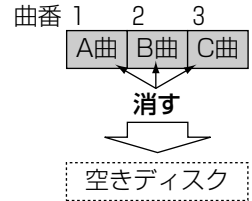
お知らせ
再生中は、全曲消せません。

1 曲または数曲を消す（1 曲削除）

こんな MD になります

1

押す

2

①傾けて“ヘンシュウ モード”を選び

ヘンシュウ モード

② [決定（ENTER)] を押す

③傾けて“1キョク サクジョ?”を選び

1キョク サクジョ？

④ [決定（ENTER)] を押す

サクジョ –?

⑤傾けて消す曲番を選び

サクジョ 2?

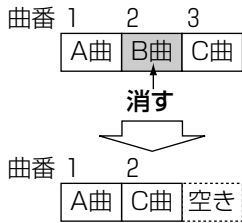
⑥ [決定（ENTER)] を押す

サクジョ 2 ?

⇕

ケッテイ ヲ オス

続けて曲番を消すときは、手順⑤、⑥をくり返す（最大 24 曲まで）

⑦ [決定（ENTER)] を押す
“UTOC カキコミチュウ” の点滅後、編集が完了します。

1 曲削除

途中で解除するには
[■] または [メニュー、–デモ] を押す。

消す前に曲番を確かめるには
最後の［決定（ENTER)］を押す前に、リモコンの［–/⏮ ］または [⏭/＋] を押す。
(“サクジョキョク カクニン” モード)

再生中（または一時停止中）の 1 曲だけ消すには
① 消したい曲を再生（または一時停止）する。
② 手順**1**から順に操作する。
曲を選ぶ手順は、自動的にスキップされます。
再生中（または一時停止中）の 1 曲だけ消えて自動的に停止します。

共通の準備

①**編集する MD を入れる。**
②**[■]（停止）を押して "MD" を選ぶ。**

曲を移動する（曲移動）

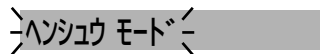
こんな MD になります

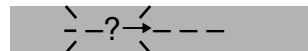
1

メニュー –デモ **押す**

2

①**傾けて "ヘンシュウ モード" を選び**

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

②**[決定（ENTER）] を押す**

③**傾けて "キョク イドウ?" を選び**

ｷｮｸ ｲﾄﾞｳ?

④**[決定（ENTER）] を押す**

–?→– – –

⑤**傾けて移動する曲を選び**

1?→– – –

⑥**[決定（ENTER）] を押す**

1 → –?

⑦**傾けて移動先を選び**

1 → 3?

⑧**[決定（ENTER）] を押す**

1 → 3 ?

⇕

ｹｯﾃｲ ｦ ｵｽ

⑨**[決定（ENTER）] を押す**
"UTOC カキコミチュウ" の点滅後、編集が完了します。

曲移動

途中で解除するには
[■] または [メニュー、－デモ] を押す。

再生中（または一時停止中）に移動するには
① 移動したい曲を再生（または一時停止）する。
② 手順 1 から順に操作する。
曲を選ぶ手順は、自動的にスキップされます。
移動先だけ選んで次の手順に進みます。

お知らせ

グループ管理している MD で曲を移動しようとすると "グループデータ フル" と表示され、移動できないことがあります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。

2 曲を 1 つにまとめる（曲結合）

こんな MD になります

曲番 1 2 3

A曲	B曲	C曲

まとめる

曲番 1 2

A曲	B+C曲

1 メニュー −デモ **押す**

2

① **傾けて“ヘンシュウ モード”を選び**

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

② **[決定（ENTER)] を押す**

③ **傾けて“キョク ケツゴウ?”を選び**

ｷｮｸ ｹﾂｺﾞｳ?

④ **[決定（ENTER)] を押す**

−−−+ −?

⑤ **傾けて 1 つにまとめる曲の組み合わせを選び**（隣り合う 2 曲のみ選択可）

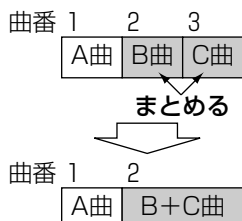
2+ 3?

⑥ **[決定（ENTER)] を押す**

2+ 3 ?

⇕

ｹｯﾃｲ ｦ ｵｽ

⑦ **[決定（ENTER)] を押す**
“UTOC カキコミチュウ” の点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが 1 つ減ります）

曲結合

途中で解除するには
[■] または [メニュー、−デモ] を押す。

編集前の状態に戻すには
曲分割機能（➡ 36 ページ) をお使いください。

再生中（または一時停止中）にまとめるには
① まとめる 2 曲の後ろの曲を再生（または一時停止）する。
② 手順**1**から順に操作する。
曲の組み合わせを選ぶ手順は、自動的にスキップされます。

お知らせ

- 2 曲を 1 つにまとめると、後ろの曲に付いていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。
- 異なるモード（LP モード OFF/LP2/LP4/長時間モノラル）で録音された曲は、1 つにまとめられません。
- LP4 モードで録音された曲をつなぐと、つないだ部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。

共通の準備

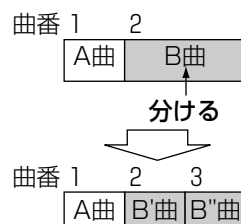
① 編集する MD を入れる。
② [■]（停止）を押して“MD”を選ぶ。

1 曲を 2 つに分ける（曲分割）

こんな MD になります

1

2 つに分ける曲を再生し、押す

2

① 傾けて“ヘンシュウ モード”を選び

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

② [決定（ENTER）] を押す

③ 傾けて“キョク ブンカツ?”を選び

ｷｮｸ ﾌﾞﾝｶﾂ ?

④ 分ける、おおよその位置で [決定（ENTER）] を押す

ｲﾁ +000?

分けた位置から、くり返し再生します。
LP モード OFF ：約 4 秒間
LP2 ：約 8 秒間
LP4 ：約 16 秒間

⑤ 傾けて正確に位置を調節する

ｲﾁ +002?

調節範囲 LP モード OFF ：
前後約 8 秒間
LP2 ：前後約 16 秒間
LP4 ：前後約 32 秒間
数値は－128 から＋127 の範囲で表示されます。

⑥ [決定（ENTER）] を押す
“UTOC カキコミチュウ” の点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが 1 つ増えます）

曲分割

途中で解除するには
[■] または [メニュー、－デモ] を押す。

編集前の状態に戻すには
曲結合機能（➡ 35 ページ）をお使いください。

お知らせ

- タイトルの付いた曲を 2 つに分けると、後ろの曲はタイトルなしになります。
- グループ管理している MD で曲を 2 つに分けようとすると、“グループデータ フル” と表示され、分けられないことがあります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。
- LP4 モードで録音した曲を 2 つに分けると、分けた部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。

MDにタイトルを付ける

録音したMDにタイトルを付ける

リモコンのみ

- 録音用MDには、MD(ディスクタイトル)の名前やグループ名(タイトル)、曲の名前(トラックタイトル)をそれぞれ約100文字まで記録できます。(LP2/LP4では97文字)
- 1枚のMDには、アルファベットで約1700文字記録できます。(文字の種類や曲数によって減ることがあります)
LP2/LP4では、曲名の先頭に“LP:”と記録されるため、曲数が多いと文字数が減ります。また、グループ編集していると、グループ管理情報が記録されるため、文字数はさらに少なくなります。

共通の準備

① タイトルを付けるMDを入れる。
② [■](停止)を押して“MD”を選ぶ。

ディスクタイトルを付ける

1 文字入力/切替

停止中に押して“ディスク?”を選ぶ

ディスク? タイトル

ディスク? → グループ? → トラック? → 元の表示

“グループ?”はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2 決定

押す
タイトル入力画面になります。

センタク:アイウエオ
■
▼
ディスク
カーソル ■

3 **文字を入力する**(➡ 39ページ)

4 決定

押す

UTOC カキコミチュウ

“UTOC カキコミチュウ”点滅後、タイトル入力が完了します。

お知らせ

プログラム、ランダム、1曲リピート、グループ再生設定中は、タイトル入力できません。解除してください。

共通の準備

① タイトルを付ける MD を入れる。
② [■]（停止）を押して“MD”を選ぶ。

グループ／トラックタイトル

途中で止めるには
[■] を押す。
ただし、すでに [決定] を押して確定したタイトルは残ります。

入力後にタイトルを確認するには
[表示切替] を数回押す。
表示される内容は、現在行っている操作や音源（ソース）によって異なります。

録音した MD の再生中にタイトルを付けることもできます（再生中の曲のみ）
① 再生中に、[文字入力/切替] を押す。
② 文字を入力し（➡ 右ページ）、[決定] を押す。
“タイトル　カキコミチュウ”と表示された後、通常の表示に戻ります。
- 再生中にタイトルを付けると、つづきの再生中は MD の編集（曲分割、曲移動、曲結合、1 曲削除）ができません。MD を止めてから編集してください。

グループ/トラックタイトルを付ける

1
文字入力/切替
停止中に押して“グループ?”または“トラック?”を選ぶ
例：トラック
トラック?　タイトル
ディスク? → グループ? → トラック?
↑―― 元の表示 ←――
“グループ?”はグループ編集している MD でのみ表示されます。

2 決定 **押す**

3 −/⏮ または ⏭/+ **押してグループまたは曲番を選ぶ**
例：曲番
トラック　3?　タイトル

4 決定 **押す**
タイトル入力画面になります。
センタク:アイウエオ
■
▼
トラック　3
カーソル―■

5 **文字を入力する**（➡ 右ページ）

6
決定 **押す**
“UTOC カキコミチュウ”点滅後、次のグループまたはトラックタイトルの入力画面になります。

必要に応じて、タイトル入力をくり返す

7
押す
タイトル入力が完了します。

文字入力のしかた タイトル入力画面にした後、入力します。

1

押して 文字の種類を選ぶ

押すたびに
アイウエオ（カナ）→ ABCDE（英大）
↑ ↓
12345（数字）← abcde（英小）

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2

押して文字を選ぶ

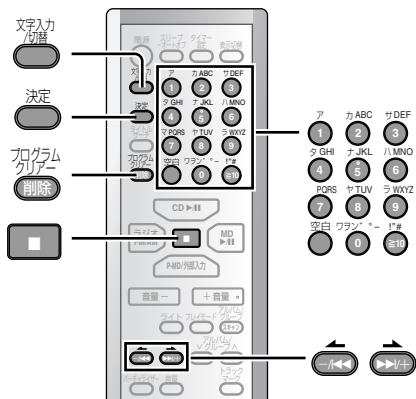
a

選んだ文字がカーソルに表示されます。

3

押す

a■

- 文字が確定され、次の文字の入力画面になります。
- 次に入力する文字が、他のボタンに割り当てられている場合、この操作は不要です。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

各ボタンを押すたびに、1 文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ	アルファベット		数字
		大文字	小文字	
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カ ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ GHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜– 0	ワヲン゛゜ー			0

■ 記号を入力するには

[≧10 !"#] を押す。
押すたびに下の順序で記号が現れます。

! " # $ % & ' ( ) ＊ + , – . / : ; < = > ? @ _ `

■ 1 文字空き（空白）を入力するには

[空白] を押す。

■゛゜ —を入力するには

[0 ワヲン゛゜—] を押して、“゛”、“゜” または “—” を選ぶ。
濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。そうでない場合は選択候補として現れません。

お知らせ

- 文字の種類は、入力中でも切り換えられます。
- 文字と濁点／半濁点の間に、空白などは入れられません。
- 1 回の再生または録音中に入力できる文字数は、約 1000 文字です。1000 文字以上入力すると、“タイトルオーバー” または “UTOC フル” と表示されます。
- 入力中に最大文字数を超える操作をしたときは、“タイトル フル” と表示されます。
- 再生、録音が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。

■ 入力を途中で止めるには

[■] を押す。
ただし、[決定] を押して確定したタイトルは残ります。

■ 入力済みの文字を変更するには

[–/⏮ ◢] または [⏭/＋ ◣] で変更する文字にカーソルを合わせる。

- 文字を訂正するには
  文字入力（➡ 上記）で上書きし、[⏭/＋ ◣] を押す。
- 文字を削除するには
  [削除、プログラムクリアー] を押す。
- 1 文字あけるには
  [空白] を押す。
- 文字を挿入するには

① 挿入する位置で、挿入する文字の数だけ [空白] を押す。
② 文字を入力する。（➡ 上記）

CD を録音中にまとめてタイトル（グループ・トラック）を付ける

シンクロ録音中はトラックタイトルを、丸録り中はグループタイトルとトラックタイトルを付けられます。

1 文字入力/切替 **録音中に押す**

シンクロ録音中：
トラックタイトル入力画面になります。手順**4**に進みます。
丸録り中：
グループタイトル入力画面になります。

例：丸録り中

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀｲﾄﾙ
ﾀｲﾄﾙ ﾆｭｳﾘｮｸ

▼

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀｲﾄﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ　1　ﾀｲﾄﾙ

▼

■

2 **グループタイトルを入力する**
（➡ 39 ページ）

3 決定 **押す**
トラックタイトル入力画面になります。

4 **トラックタイトルを入力する**
（➡ 39 ページ）

5 決定 **押す**
次の曲のトラックタイトル入力画面になります。

必要に応じて、タイトル入力をくり返す
（入力しない曲は、[決定] でとばせます）

6 決定 **押す**
“タイトル カキコミチュウ”と表示した後、通常の表示に戻ります。

CD 録音中にまとめてタイトルを付ける

途中で解除するには
[■] を押す。
ただし、[決定] を押して確定したタイトルは残ります。[文字入力/切替] を押すと、もう 1 度最初からタイトルを入力/修正できます。

タイトルを追加、訂正するには
- 録音中は、上記の操作をします。
- 録音終了後は、**グループ/トラックタイトルを付ける**（➡ 38 ページ）をします。

タイトル入力中のグループまたはトラック番号を確認するには
[表示切替] を押す。

お知らせ
- タイトルは、1 曲目から順に記録されます。前の曲には戻れません。
- CD のランダム、リピート設定中は、録音中のトラックのみタイトルを付けられます。
- 録音中に一時停止したり、手動でトラックマークを付けたりすると、まとめてタイトル入力できません。
- 曲数以上に入力しても、余ったタイトルは記録されません。
- タイトル入力中/入力後は、一時停止したり、手動でトラックマークを付けたりできません。
- MP3 録音中は、録音中のトラックのみタイトルを付けられます。

他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）

MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。一度タイトルを入れておけば、二度目からは入力の手間が省けます。

タイトルをコピーする前に

- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- 再生専用 MD や未録音の MD は使えません。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

1 押して“MD”を選ぶ

2

タイトルの付いた MD（コピー元）を入れる

3 メニュー –デモ 押す

4

① 傾けて“ヘンシュウ モード”を選び

ﾍﾝｼｭｳ ﾓｰﾄﾞ

② [決定（ENTER)] を押す

③ 傾けて“タイトル ステーション ?”を選び、[決定（ENTER)] を押す

ﾀｲﾄﾙ ｽﾃｰｼｮﾝ ?

⇕

ｹｯﾃｲ ｦ ｵｽ

④ [決定（ENTER)] を押す

ﾀｲﾄﾙ ｷﾛｸ

▼

ｶﾝﾘｮｳｼﾏｼﾀ

▼

MD ﾄﾘﾀﾞｼ

5

MD

押して MD を取り出し、タイトルを付けるMD（コピー先）を入れる

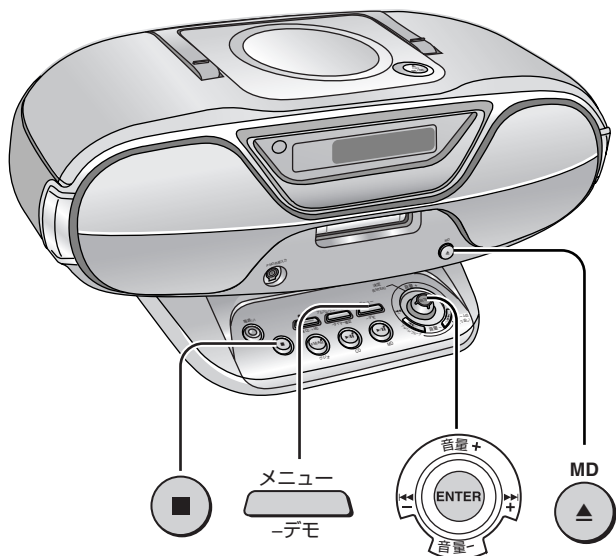
ｶｷｺﾝﾃﾞ ｲｲﾃﾞｽｶ?

⇕

ｹｯﾃｲ ｦ ｵｽ

6

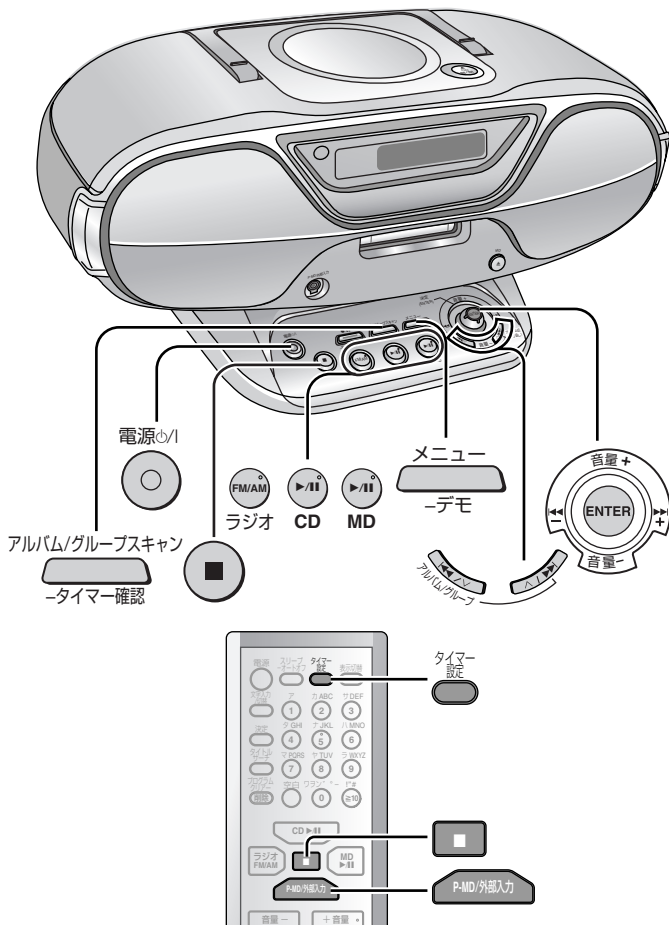
押す

“UTOC カキコミチュウ”の点滅後、タイトルコピーが完了します。

タイトルステーション

途中で解除するには

[■] を押す。

お知らせ

- 本機が記憶できるタイトルは、MD1 枚分です。
- 本機に記憶されたタイトルは、一度コピーすると消えます。
- 電源を切ると本機のタイトルは失われます。
- LP2/LP4 で録音した曲をコピー元MDとして使った場合、コピー先の曲が標準（LP モード OFF）で録音されていても、トラックタイトルの頭に“LP:”と表示されます。
- コピー元 MD がグループ管理されているときは、コピー先 MD にグループ管理情報もコピーされます。

アラームタイマーを使う

アラーム音を停止するには
アラームが鳴っているときに [■] を押す。

アラーム音を一時停止するには（アラーム切（くり返し））
アラームが鳴っているときに

- JOY コントローラーを上下左右のいずれかに傾けるか [決定（ENTER)] を押す。
- 本体の [⏮/∨ アルバム/グループ] または [∧/⏭ アルバム/グループ] を押す。

約 6 分後に、再度アラーム音が鳴ります。

アラームタイマーを解除するには
リモコンの［タイマー設定］を押して“タイマーカイジョ”を選ぶ。

設定内容を確認するには
[アルバム/グループスキャン、−タイマー確認] を押したままにする。

お知らせ

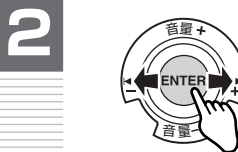
- アラームタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- 再生中や、おめざめタイマーと設定時刻が重なったときは、ミキシングした音になります。
- 録音中にアラームが鳴ってもアラーム音は録音されません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- **おめざめタイマー**(➡ 右ページ)と同時に設定するときは、手順**3**で“ALARM (ALARM⏻PLAY)”を選びます。

アラームタイマーを使う

指定した時刻にアラーム音を鳴らします。
準備：
① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 10 ページ)
表示例：6:45 にアラーム音を鳴らす。

タイマー時刻設定（24 時間表示）

1 メニュー –デモ **押す**

2

①傾けて“タイマー セッテイ”を選び

タイマー セッテイ

② [決定（ENTER)] を押す

③傾けて“アラーム： ALARM”を選び

アラーム：ALARM

④ [決定（ENTER)] を押す

10 秒以内

⑤傾けて開始時刻に合わせ

ALARM 6 : 45

⑥ [決定（ENTER)] を押す

タイマー実行設定

3 リモコンのみ

押して“ALARM”を選ぶ

ALARM
ALARM 6 : 45

押すたびに

タイマー カイジョ→ALARM (ALARM)→タイマーサイセイ：PLAY (⏻PLAY)
↑ ↓
タイマーロクオン：REC (⏻REC)←ALARM (ALARM⏻PLAY)

（時刻設定していないタイマーは表示されません）

- 指定した時刻になると、アラーム音が鳴ります。**停止・一時停止の操作**（➡ 左記）をしないときは、約 60 分間鳴り続けます。（音量は調節できません）
- 電源「切」時は表示部の照明が点灯し、一時停止の操作をすると消えます。
- アラーム音が鳴っているときや一時停止中は“ALARM”が点滅します。

おめざめタイマーを使う

- 開始時刻に電源が入り、好みの音源（ソース）を再生し、終了時刻に電源が自動的に切れます。
- 一度時刻設定しておくと、あとは音源（ソース）の設定を変えるだけで、違う音源（ソース）で使えます。

準備：
① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。（➡ 10 ページ）
表示例：6:30 ～ 7:40 まで再生する。

タイマー時刻設定（24 時間表示）

1

押す

2

① 傾けて“タイマー セッテイ”を選び

タイマー セッテイ

② [決定（ENTER)] を押す

③ 傾けて“タイマーサイセイ：PLAY”を選び

タイマーサイセイ：PLAY

④ [決定（ENTER)] を押す

10 秒以内

⑤ 傾けて開始時刻に合わせ

ON　　OFF
6：30 →→ 0：00

⑥ [決定（ENTER)] を押す

ON　　OFF
6：30 →→ 6：30

⑦ 傾けて終了時刻に合わせ

ON　　OFF
6：30 →→ 7：40

⑧ [決定（ENTER)] を押す

タイマー実行設定

3

音源（ソース）と音量を選ぶ
① 音源（ソース）を再生し、
好みの曲を予約するには
（➡ 16 ページ）

② 音量を調節し、

③ CD/MD は再生を止める

4

リモコンのみ

押して
“タイマーサイセイ：PLAY”を選ぶ

PLAY
タイマーサイセイ：PLAY
6：30 →→ 7：40

押すたびに

タイマー カイジョ→ALARM (ALARM)→タイマーサイセイ：PLAY (PLAY)
↑　　　　↓
タイマーロクオン：REC (REC)←ALARM (ALARMPLAY)

（時刻設定していないタイマーは表示されません）

5

押して
電源を切る

電源を切らないと、タイマーが動作しません。

開始時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は、“ PLAY”が点滅）

タイマー設定後でも、再生や録音はできます
操作の後は、必ず電源を切ります。
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

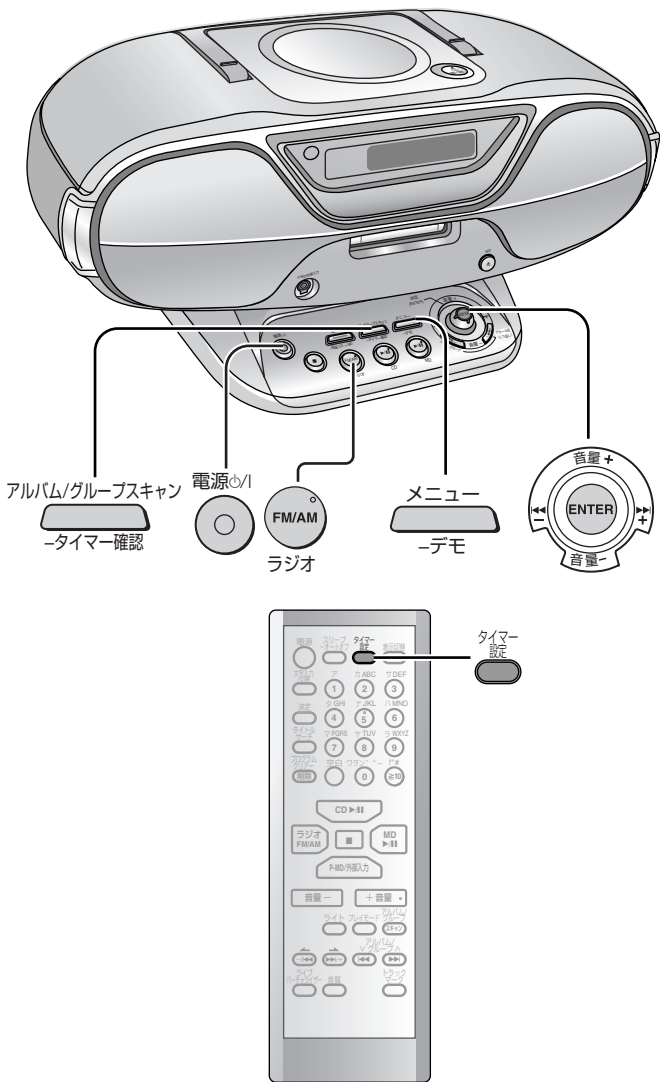
おめざめタイマーを使う

おめざめタイマーを解除するには
電源を入れ、リモコンの［タイマー設定］を押して“タイマー カイジョ”を選ぶ。
- 再び実行させるときは、“タイマーサイセイ：PLAY”を選び、電源を切る。

設定内容を確認するには
［アルバム/グループスキャン、－タイマー確認］を押したままにする。

外部機器を使ったタイマー設定
手順3でリモコンの［P-MD/外部入力］を押して“ガイブニュウリョク”にし、接続機器を本機と同時刻に動作するように設定する。

操作をまちがえたり、設定内容を変えるときは
時刻を変えるとき
電源を入れ、*タイマー時刻設定* を行い、電源を切る。
音源（ソース）を変えるとき
① リモコンの［タイマー設定］を押して“タイマー カイジョ”を選ぶ。
② *タイマー実行設定* をする。

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- アラームタイマーと同時に設定するときは、手順4で“ALARM (ALARMPLAY)”を選びます。

留守録タイマーを使う

開始時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻に電源が自動的に切れます。

準備：

① 電源を入れ、録音用 MD を入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 10 ページ)
表示例： 18:30 ～ 20:00 まで、放送を録音する。

タイマー時刻設定(24 時間表示)

1 メニュー –デモ **押す**

2

① 傾けて “タイマー セッテイ”を選び

タイマー セッテイ

② [決定（ENTER)] を押す

③ 傾けて“タイマーロクオン：REC”を選び

タイマーロクオン：REC

④ [決定（ENTER)] を押す

10 秒以内

⑤ 傾けて開始時刻に合わせ

ON OFF
18：30 →→ 0：00

⑥ [決定（ENTER)] を押す

ON OFF
18：30 →→ 18：30

⑦ 傾けて終了時刻に合わせ

ON OFF
18：30 →→ 20：00

⑧ [決定（ENTER)] を押す

留守録タイマーを使う

留守録タイマーを解除するには

電源を入れ、リモコンの [タイマー設定] を押して“タイマー カイジョ”を選ぶ。

● 再び実行させるときは、“タイマーロクオン：REC”を選び、電源を切る。

操作をまちがえたり、設定内容を変えるときは

時刻を変えるとき

電源を入れ、 タイマー時刻設定 を行い、電源を切る。

音源（ソース）を変えるとき

① リモコンの [タイマー設定] を押して“タイマー カイジョ”を選ぶ。
② タイマー実行設定 をする。

タイマー実行設定

3

放送を受信する
① "FM" または "AM" を選ぶ（➡ 23 ページ）

② 周波数を選ぶ
記憶させた放送局を選ぶには（➡ 25 ページ）

③ 音量を調節する
必要に応じて下記を設定する
録音モード（➡ 28 ページ）
長時間（LP）モード（➡ 27 ページ）

4 リモコンのみ

押して "タイマーロクオン：REC"を選ぶ

⊕REC
タイマーロクオン：REC
18：30 →→ 20：00

押すたびに
タイマーカイジョ→ALARM（ALARM）→タイマーサイセイ：PLAY（⊕PLAY）
↑ ↓
タイマーロクオン：REC（⊕REC）←ALARM（ALARM⊕PLAY）
（時刻設定していないタイマーは表示されません）

5

押して 電源を切る
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

- 開始時刻の約 30 秒前になると電源が入り、自動的に録音が始まります。（動作中は "⊕ REC" が点滅）
- 設定した音量までフェードイン（除々に大きく）しますが、録音される音には影響しません。

タイマー設定後でも、再生や録音はできます
操作後は、録音用 MD を入れ、必ず電源を切ります。電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定内容を確認するには
[アルバム/グループスキャン、−タイマー確認] を押したままにする。

お知らせ

- 留守録タイマーはおめざめタイマー、アラームタイマーと同時に設定できません。
- ターンバック録音モードでタイマー録音する場合でも、設定した開始時刻から録音が始まります。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

おやすみタイマーを使う リモコンのみ

指定した時間が経過すると、再生を停止し、自動的に電源が切れます。

スリープ −オートオフ

音源（ソース）を聞きながら
押して再生時間を指定する

SLEEP
スリープ 30

押すたびに
スリープ 30 → 60 → 90 → 120 → OFF
（単位：分）

おやすみタイマーを使う

おやすみタイマーを解除するには
[スリープ、−オートオフ] を押して "スリープ OFF" を選ぶ。

残り時間を確かめるには
[スリープ、−オートオフ] を 1 回押す。残り時間が約 5 秒間表示されます。

残り時間を変えるには
[スリープ、−オートオフ] を押して新たに時間を指定する。

お知らせ

おやすみタイマーが 10 分以上残っていても、**オートオフ**（➡ 47 ページ）を働かせているときは、オートオフが優先します。

音質、音場効果を選ぶ

好みの音質や音場効果を楽しめます。

臨場感を高める　L.V.(ライブバーチャライザー)

押して
“L. V. ON”を選ぶ

LV
L.V.　ON

音質を切り換える　EQ(イコライザー)

押して
音質モードを選ぶ

EQ
ﾍﾋﾞｰ

押すたびに

ヘビー：ロックなど、パンチを効かせるとき
↓
クリアー：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
↓
ソフト：BGMとして聞くとき
↓
ボーカル：ボーカルにつやを出したいとき
↓
EQ-OFF：音質効果を使わないとき

ライブバーチャライザー

設定を解除するには
もう一度押して、“L.V. OFF”を選ぶ。

お知らせ

効果はステレオ音声のみで、音楽によって異なります。

イコライザー

設定を解除するには
押して“EQ-OFF”を選ぶ。

時間やタイトルなどの情報を見る

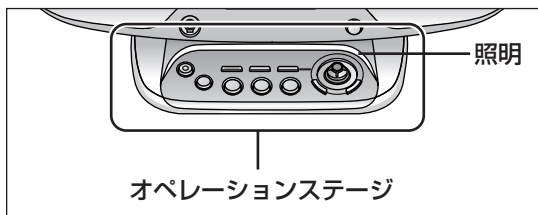
タイトルや残り時間などいろいろな情報が表示されます。

押す
押すたびにいろいろな情報が表示されます。
例：録音用 MD の残り時間

MD ﾉｺﾘ 53 : 01

表示される内容は、現在行っている操作や音源（ソース）によって異なります。

オペレーションステージを照らす（ライト）

オペレーションステージの照明の明るさを切り換えられます。

押す
押すたびに、明るさが切り換わります。

押すたびに
ライト 1：明るく
↓
ライト 2：やや明るく
↓
ライト OFF：消灯

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）

ボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

“オートオフ セッテイ”と表示するまで押したままにする

ｵｰﾄｵﾌ ｾｯﾃｲ

時間やタイトルなどの情報を見る

お知らせ

- MD のディスクの残り時間は、誤消去防止つまみの閉じている、録音用 MD の停止中のみ表示されます。再生中は、曲の残り時間が表示されます。
- 文字のスクロールは、表示部に表示しきれない場合に限ります。
  スクロール表示中に、[表示切替]を押すと、他の表示に切り換わります。
- MP3 の残り時間は表示されません。

ライト

ライトを「切」にするには
押して“ライト OFF”を選ぶ。

オートオフ

オートオフを解除するには
“オートオフ カイジョ”と表示するまで押したままにする。

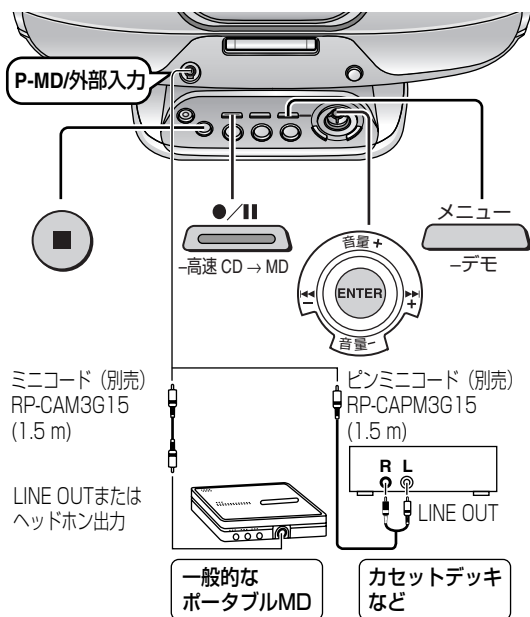
お知らせ

- オートオフは、CD、MD の停止中のみ働きます。
  ラジオを聞いているときは働きません。
- オートオフ機能を ON にしておくと、電源「入」時に“オートオフ セッテイ”と表示されます。
- **おやすみタイマー**（➡ 45 ページ）が 10 分以上残っていても、オートオフを働かせているときは、オートオフが優先します。

別売品の品番は、2008年7月現在のものです。品番は変更されることがあります。

別売機器からMDに録音する

別売機器を接続

電源を切った状態で接続します。

録音モードについて

つないだ機器によって、選択できる録音モードは異なります。

マニュアル ロクオン：通常の録音モードです。自動でトラックマークは付きません。

シンクロ ロクオン：接続した機器の再生が始まると、自動的に録音も始まるモードです。無音の状態が約3秒続くと録音が一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

ターンバック ロクオン：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。

タイムマーク キロク：5分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

ターン/タイムマーク：数秒前から録音し、5分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

本機のMDに録音する

1 リモコンのみ

押して“ガイブニュウリョク”を選ぶ

ｶﾞｲﾌﾞﾆｭｳﾘｮｸ

押すたびに
ガイブニュウリョク：一般の外部機器（MDネットワーク未対応）
↕
P-MD：MDネットワーク対応の機器

2 リモコンのみ

録音レベルを確認する

外部機器のヘッドホン端子と接続しているときは、外部機器を再生して、レベル表示がときどき端まで点灯する程度に、外部機器の音量を調節してください。

レベル表示

必要に応じて、押したままにして入力レベルを選ぶ

レベル：ノーマル：レベルを変えないとき（信号レベルが通常の機器）
↕
レベル：ハイ：レベルを上げたいとき（ポータブルMDなど信号レベルが低い機器）

3

押す

4

①傾けて“ロクオン（REC）モード”を選び

ﾛｸｵﾝ(REC)ﾓｰﾄﾞ

②［決定（ENTER）］を押す

③傾けて録音モード（➡ 左記）**を選び**

ﾏﾆｭｱﾙ ﾛｸｵﾝ? ↔ ｼﾝｸﾛ ﾛｸｵﾝ? ↔ ﾀｰﾝﾊﾞｯｸ ﾛｸｵﾝ?
↕ ↕
ターン/タイムマーク? ↔ タイムマーク キロク?

④［決定（ENTER）］を押す

5 **押す**

●/II
–高速 CD → MD

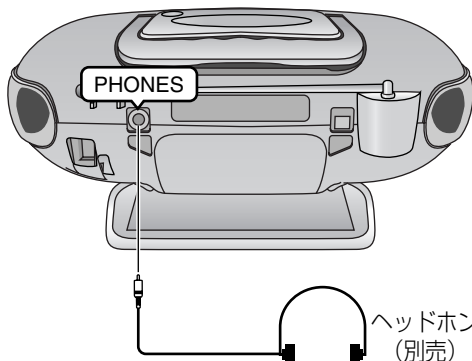
- シンクロ ロクオンモードのときは、一時停止状態になります。外部機器から信号が入ると、自動的に録音が始まります。
- ターンバック ロクオンまたはターン/タイムマークモードのときは録音待機状態になります。
  録音するときは、もう 1 度［●/II –高速 CD → MD］を押します。

6 **外部機器を再生する**

別売機器から MD に録音する

途中で止めるには
[■] を押す。

お知らせ

- 音源（ソース）や録音方法によっては、録音時間に誤差が生じる場合があります。
- シンクロ ロクオンモードでは、音が一定レベルに達したところから録音が始まるため、曲によっては頭の部分が録音されないことがあります。その場合は、シンクロ ロクオンモードを使用せずに録音し、後から**曲分割機能**（➡ 36 ページ）などで編集してください。
- シンクロ ロクオンモードでは一時停止できません。

ヘッドホンを使う

本機後面

プラグタイプ： ø3.5 mm ステレオミニプラグ

① 音量を下げる。
② 本機後面の PHONES 端子にヘッドホンを接続し、音量を調節する。

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

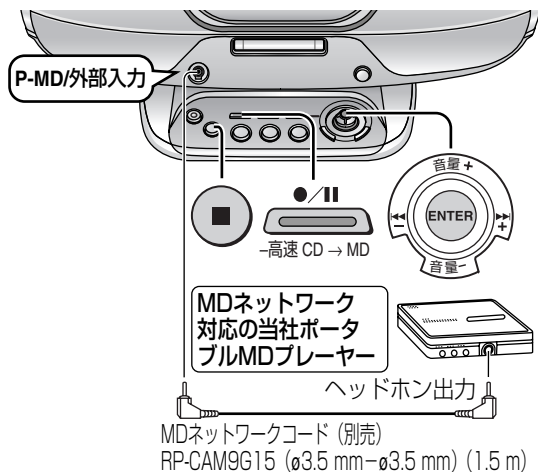
音のエチケット
シンボルマーク

別売品の品番は、2008 年 7 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

MD ネットワーク機能で MD から MD に録音する

MD ネットワーク対応の当社ポータブル MD プレーヤーから、本機の MD に録音します。ポータブル MD プレーヤーを本機でコントロールして録音、タイトルのコピーが簡単にできます。（再生専用 MD のタイトルはコピーできません）

ポータブル MD プレーヤーを接続

電源を切った状態で接続します。

当社ポータブル MD プレーヤーの取扱説明書に記載されているものをお買い求めください。

MD ネットワークで録音する

途中で止めるには
[■] を押す。

お願い

操作中は、ネットワークコードを抜かないでください。

お知らせ

- MD ネットワーク機能で高速録音はできません。おめざめタイマー、留守録タイマーと組み合わせて使うこともできません。
- 本機側の MD にディスクタイトルが記録されている場合は、MD ネットワーク機能でもディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能でグループ名はコピーされません。
- MD ネットワーク機能で録音終了後、ポータブル MD プレーヤーは節電のため、約 4 分後に自動的に電源「切」になります。（“P-MD” が点滅。再び通信を確立するにはリモコンの [P-MD/外部入力] を押します）
- 音源（ソース）によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

MD から MD に録音する

準備：

録音用 MD を入れ、必要に応じて MD の長時間（LP）モードを選ぶ。（➡ 27 ページ）

1 リモコンのみ

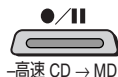
押して “P-MD” を選ぶ

P-MD (18Tr)

ポータブル MD 側の総曲数

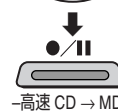
押すたびに

ガイブニュウリョク：一般の外部機器（MD ネットワーク未対応）
↕
P-MD ：MD ネットワーク対応の機器

2 **全曲録音する**

押す

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。（曲間に数秒のブランクができます）

1 曲ずつ録音する

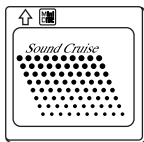
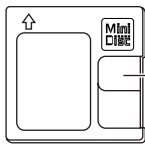
傾けて曲番を選ぶ
選んだ曲が、確認の意味で自動的に再生されます。

再生が始まってから押す

自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
1 曲の録音が終わると、自動停止します。

MDについて

MDの種類

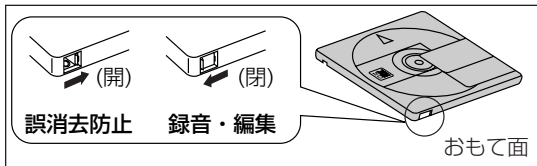
■再生専用MD
録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式のMDを「光ディスク」といいます。

■録音用MD
磁気によってデータを記録します。この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。

- 本機は、Hi-MDには対応していません。

MDの録音・編集について

■テープとは違います
録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません。）

■MD 1枚への録音曲数は 、収録時間内で最大254曲までです
ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために
MDの誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について
デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CDなどからMDにデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、このMDから、さらに別のMDへはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー”の禁止。）またこのような制限があるCDからMDへのデジタル録音もできません。
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC カキコミチュウ”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力がMDに正しく記録されません。

よく出てくるMD用語

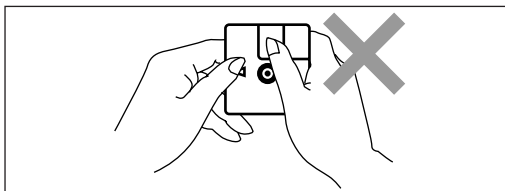
■トラックマーク
録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。
トラックマークを入れることで、1枚のMDに最大254曲番まで記録することができます。

■TOC（トック）（Table of Contents）
MDには、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や再生時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

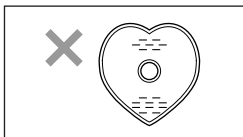
■UTOC（ユートック）（User Table of Contents）
利用者が自由に書き換えられるTOCです。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MDにUTOC情報が書き込まれているとき、“UTOC カキコミチュウ”と表示され注意を促します。

■マーキング
録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のあるMDは、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
（万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

CDについて

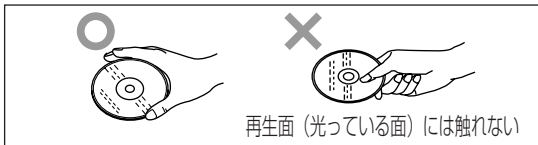
[COMPACT disc DIGITAL AUDIO ロゴ]のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります。）

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクについては録音や再生を保証しておりません。DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。

■CD-R と CD-RW の再生について

CD-DA または MP3 フォーマットで記録された CD-R と CD-RW の再生に対応しています。CD-DA フォーマットの場合は、音楽用ディスクを使用し、録音終了時にファイナライズ※が必要です。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■持ちかた

■汚れたときは

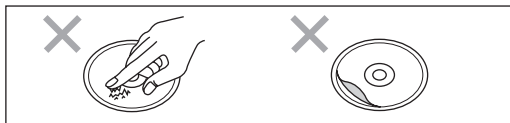
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

お手入れ

■本機が汚れたら

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■CD ・ MD を良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品：

CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）

MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

保管（CD・MD）

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
(社) 私的録音補償金管理協会（sarah）
住所：東京都千代田区麹町 1-8-14 麹町 YK ビル 2 階
Tel ： 03-3261-3444

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD を売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本　　部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 5321-9530	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5321-9881	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

主な仕様

ラジオ

受信周波数	
FM	： 76.0 ～ 90.0 MHz TV 1ch ～ 3ch
AM	： 522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

MD デッキ

記録方式	： 磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	： 半導体レーザー（波長 780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数	： 44.1 kHz
圧縮/伸張方式	： ATRAC/ATRAC3（MDLP）方式
チャンネル数	： 2 チャンネル（ステレオ）

CD プレーヤー

サンプリング周波数	： 44.1 kHz
量子化	： 16 ビット直線
光源	： 半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数	： 2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	： 測定限界以下
DA コンバーター	： MASH（1 ビット DAC）

共通

スピーカー	： 7 cm/6 Ω フルレンジ 2 個
入力端子	
P-MD/外部入力	： ø3.5 mm (STEREO)
P-MD	： −21 dBV
外部入力	： −8 dBV
出力端子	
PHONES	： ø3.5 mm (STEREO) （適合ヘッドホンインピーダンス 16 ～ 64 Ω）
実用最大出力	： 6 W (3 W+3 W) (JEITA)
電源	： AC100 V、50/60 Hz
消費電力	： 23 W
最大外形寸法	
（幅 × 高さ × 奥行）	： 403 mm × 175 mm × 270 mm (JEITA)
質量	： 約 4.0 kg

電源切時の消費電力：約 0.6 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビをつなぎたい	P-MD/外部入力端子に接続します。 リモコンの［P-MD/外部入力］を押して、“ガイブニュウリョク”を選んでください。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	48
	有線放送をつなぎたい	P-MD/外部入力端子に接続します。 リモコンの［P-MD/外部入力］を押して、“ガイブニュウリョク”を選んでください。	48
MD	MD ネットワークとは？	MD ネットワーク対応の当社ポータブル MD プレーヤーから、本機の MD に録音します。ポータブル MD プレーヤーを本機でコントロールして録音、タイトルのコピーが簡単にできます。（再生専用 MD のタイトルはコピーできません）	50
	長時間ステレオ録音をしたい	LP モード 2 倍/4 倍の設定をしてから録音します。	27
	MD の残り時間を知りたい	MD 停止中にリモコンの［表示切替］を数回押して“MD ノコリ”を表示させます。	47
	録音した曲に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないときは、いらない曲を消してから録音してください。	32, 33
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	—
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。	—
	LP2、LP4 で録音された MD はどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP** に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“LP:”と表示され、無音で再生されます。	—
	長時間ステレオ録音した曲の再生はどうやって切り換えるの？	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	—
	LP2、LP4 で録音された MD は、音質が悪くなる？	LP4 では、ごくまれに雑音が録音されることがあります。標準時間録音（LP モード OFF）または LP2 録音をおすすめします。	26
	高速録音すると音質は悪くなる？	高速録音しても音質には影響ありません。	—
その他	外部機器（外部入力）からの出力が小さいが？	推奨のコードをお使いください。	48
	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。 ラジオの地域選択を設定し直してください。	24

こんな表示が出たら

表　示	意 味 または 処 理
エラー	操作が違います。
キョクスウガ、イッチシマセン（交互に表示）	曲数の違うMDへはタイトルステーション機能は使えません。
キロク デキマセン	コピー元のMDタイトルが記憶できていません。再度操作してください。
グループ データ フル	MDの領域が足りません。タイトルを短くするか、消去してください。
ケツゴウ デキマセン	曲結合できません。（MDの記録方式上の制約です。）
ゴショウキョボウシ、ジョウタイデス（交互に表示）	MD誤消去防止状態になっています。 録音・編集するには、MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
コレイジョウエラベマセン	これ以上トラックを選べません。
サイセイセンヨウMDデス	再生専用MDのため、録音や編集はできません。
サイセイデキマセン	本機で再生できない形式のトラックを再生しようとしました。 トラックはスキップされ次の曲が再生されます。
ジコクヲ アワセテクダサイ	時計を合わせてください。
ジコクヲカエテクダサイ	タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。
タイトル オーバー	タイトルを書き込むだけの空きがない状態でまとめてタイトルを入力しようとしました。 録音または再生が終了して“UTOC カキコミチュウ”の点滅後に続きを入力してください。
タイトル フル（約2秒点灯）	タイトルを、本機にこれ以上記憶できません。 各トラックのタイトル入力は約100文字までです。
タイマージコクヲ セッテイシテクダサイ	タイマーの時刻を設定してください。
ディスク フル	MDの空き時間が足りません。
トラックxxx、ホゴサレテイマス、サクジョシテイイデスカ（交互に表示）	曲にプロテクト（保護）がかかっています。消去していいか確認してください。 消去することはできます。
トリダシ エラーまたは ロード エラー	MDを出し入れしたときに異常が発生しました。 自動的に電源が切れますので、MDを入れ直してください。
ブランク ディスク	MDに一曲も録音されていません。聞くときは録音済みのMDを入れてください。 録音はそのまま行えます。
ブンカツ デキマセン	曲分割できません。（MDの記録方式上の制約です。）
ヘンシュウ デキマセン	再生中のタイトル入力後、MD編集はできません。プログラム、ランダム、グループ設定中はMDの編集やタイトル入力できません。各設定を解除してから編集操作を行ってください。
ロクオンイジョウデス	録音中に異常が発生しました。MDを入れ直してください。
ロクオン エラー	録音中に異常が発生しました。表示中は音声は録音されていません。
ロクオンデキナイ キョク、アナログニシテクダサイ（交互に表示）	ビデオCD、CD-ROM、コピー禁止が設定されたディスクなどからは録音できません。 SCMS（➡ 51ページ）が記録されたCD-RやCD-RWからMDに録音しようとしました。デジタルでは録音できませんので録音モードを“アナログ ロクオン?”（➡ 31ページ）に切り換えてください。
MP3デハアリマセン	CD-ROMディスクで、CD-DAまたはMP3のデータがないと表示され、再生はできません。
P-MD（点滅表示）	ポータブルMDとの通信が中断しています。再度リモコンの[P-MD/外部入力]を押してください。
P-MD エラー	ポータブルMDとの通信エラーです。再度リモコンの[P-MD/外部入力]を押してください。
TOC エラー	MDの読み取りに問題のある可能性があります。 電源を切/入したあと、MDを入れ直してください。
	MDに異常があるか、損傷しています。MDを取り替えてください。
	MP3ディスクの読み込みができませんでした。ディスクを入れ直してください。
TOC ヨミコミチュウ	MDの情報を読み込み中です。この間は操作できません。
UTOC フル	MDに情報を書き込める余白がありません。 不要なタイトルや曲を消去してください。（UTOC フルの状態では曲分割もできません。）

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
システム全体に共通	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	11
	音が出ない。	音量が最小になっていませんか。	音量を調節する。	12
		ヘッドホンを接続していませんか。	ヘッドホンをはずす。	49
	設定時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか。	おめざめ、留守録タイマーは電源を切らないと動作しません。	43、44
		"◴ PLAY、◴ REC、SLEEP、ALARM"が表示していますか。	おめざめ、留守録、おやすみ、アラームの各タイマーのタイマー実行設定を行って表示させる。	42～45
	電源「切」に時計が表示されない。		時計を合わせる。	10
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	電源プラグを長期間抜いていませんか。	再度設定してください。 メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。	11
	表示が出ない。	電源コードを正しく接続していますか。	電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込んでみる。	7
MD	再生または録音できない	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	–
		再生専用のMDに録音しようとしていませんか。	録音用MDを入れる。	51
		誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	
		すでに録音された時間または曲数(上限254曲)がいっぱいになっていませんか。	不要な曲があれば消してから録音する。 (MDは、たとえ1秒の録音でも、約2秒分の領域を使うため、短い曲を多く録音すると、再生側の時間表示より録音時間が少し長くなります。)	51
	MDを入れても曲数などが表示されない。	MD以外のモード(CD、ラジオなど)になっていませんか。	[■](停止)を押して"MD"に切り換える。	–
		MDが破損しているかもしれません。	別のMDで確認してみてください。	
	MDを入れても自動的に引き込まれない。 また、入れるのに力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れ直す。	–
	曲結合や曲分割ができない。また、曲を消しても残り時間が増えない。	録音・消去をくり返していませんか。	録音データがしだいに細かく分断されていくため左記のような状態になることがあります。(MDの記録方式上の制約です。) この時サーチを行うと、音が途切れたりすることがあります。	–
			録音モード(LP モード OFF/LP2/LP4/モノラル長時間)の異なる曲は、1曲にまとめることができません。	–
	MDの操作ができない。	一時的に内部回路で不具合が起きた可能性があります。	電源を切/入してから操作してください。異常が再発するときは販売店にご相談ください。	–

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
CD	再生できない。 CD を入れても、曲数などが表示されない。	CD が裏表逆になっていませんか。	ラベル面を上にして入れる。	13
		規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り替える。	52
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約 1 時間待ってから使用する。	–
	特定の個所が再生できない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	52
	CD の音がとぶ。 CD を録音すると音がとぶ。	CD の裏面に傷や指紋が付いていませんか。	指紋は柔らかい布でふいてください。 傷が付いている場合は、CD を交換してください。	52
MP3	MP3 ディスクでタイトルが表示されない。	本機で表示できない文字(ひらがな、漢字など)で付けていませんか。	本機で表示できる文字(カタカナ、アルファベット、数字、記号)で付けてください。	19
	MP3 ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行った MP3 ディスクを使用してください。	–
		1 セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1 セッションのデータ量を約 5 MB(3 分程の曲で約 2 曲分)以上にしてください。	–
ラジオ	FM がよく受信できない。 雑音やひずみが多い。	ホイップアンテナを調整しましたか。	ホイップアンテナの長さや向きを変えてみる。	23
		テレビ、ビデオデッキ、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BS チューナーなどの電源を切ってみる。	–
		送信所が遠くありませんか。	送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。窓際など、条件の良い場所に設置してみる。	23
	AM がよく受信できない。 雑音が多い。	AM ループアンテナを接続していますか。	AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。 AM ループアンテナを本体から離してください。	7、23
		テレビ、ビデオデッキ、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BS チューナーなどの電源を切ってみる。	–
		アンテナのコードが電源コードに接近していませんか。	アンテナのコードと電源コードを離す。	–
	テレビ放送が受信できない。	ラジオが AM バンドになっていませんか。	テレビは 1 ～ 3 チャンネルの音声のみ FM バンドで受信可能です。	23
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	6
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	

メモリーのリセット(初期化)

次のようなときは、右の手順で、メモリーをリセット(初期化)してください。
- ボタンを押しても何も反応しない。
- メモリー内容を消して、再度設定したい。

● メモリー内容をリセット(初期化)するには

① 電源プラグを、コンセントから抜く
② 本体の [**電源** ⏻/I] を押したまま
③ 電源プラグをコンセントに差し込み
表示部に "------------" が表示されたら
④ [**電源** ⏻/I] を離す

● メモリーをリセット(初期化)すると

- 高速録音は約 74 分間経過しないとできません。
- 時計、放送局などは再度設定が必要です。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このパーソナル MD システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

56 ～ 57 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
右記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	パーソナル MD システム
品　番	RX-MDX63
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談
パナソニック 修理ご相談窓口
ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087
- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
パナソニック お客様ご相談センター
365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0608

さくいん

愛情点検　長年ご使用のパーソナル MD システムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　–	品番	RX-MDX63
お客様ご相談窓口	☎（　　）　–	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQTX0167-1S
H0708FS2098